

EPSON



マルチメディア・プロジェクター

M M PROJECTOR
ULTI EDIA

ELP-710/700/500

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。


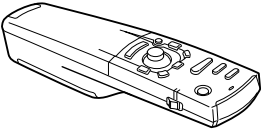
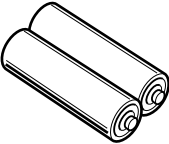
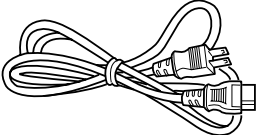
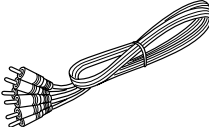
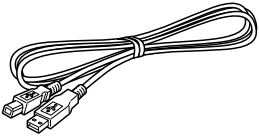
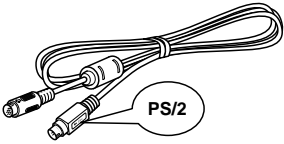
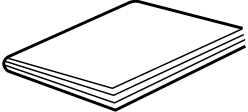
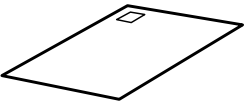

お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

保証書別添

同梱品の確認

プロジェクターと付属品を箱から取り出し、次のものが同梱されていることを確認してください。万一、不足しているものがあつた場合、お手数ですがお買い上げの販売店または「エプソンサービスセンター」までご連絡ください。

<p>・プロジェクター本体 ・ひも付きレンズカバー</p> 	<p>・リモコン</p> 	<p>・リモコン用乾電池 (単3形アルカリ乾電池 LR6)</p> 
<p>・電源ケーブル</p> 	<p>・コンピュータケーブル</p> 	<p>・A/Vケーブル (赤/白/黄色)</p> 
<p>・USB マウスケーブル</p> 	<p>・PS/2 マウスケーブル</p> 	<p>・MAC マウスケーブル</p> 
<p>・取扱説明書 (本書)</p> 	<p>・お客様情報 + 正式保証書発行カード</p> 	<p>・ソフトケース</p> 

本書の構成

PDF SECTOR

安全上のご注意、各部の名称と働き

ご使用になる前に

設置方法、スクリーンサイズと投写距離

設置

コンピュータとの接続、投写のしかた、調整のしかた

コンピュータ映像を写す

ビデオ機器との接続、投写のしかた、投写位置の調整

ビデオ機器映像を写す

プレゼンテーション時の便利な使いかた

プレゼンテーションを演出する

メニュー画面を使った調整や設定方法

メニュー画面の操作

投写されない、映像が乱れるなどのトラブルや、困ったときの対処方法

困ったときに

日常のお手入れや保守のしかた、ランプの交換のしかた

メンテナンス

オプション品、運搬方法、用語解説、索引、仕様、保証とアフターサービス

その他

目次



本書の構成	i
目次	ii
特長	v
本書の見かた	vii

ご使用になる前に 1



安全上のご注意	2
各部の名前と働き	6

設置 13



設置	14
----------	----

コンピュータ映像を写す 17



接続できるコンピュータ	18
コンピュータとの接続	20
外部オーディオ機器で音を出す	22
投写する	23
調整する	26
終了する	35

ビデオ機器映像を写す 39



ビデオ機器との接続.....	40
投写する.....	41
調整する.....	43
終了する.....	44

プレゼンテーションを演出する 45



ワイヤレスマウスを使う.....	46
映像を部分拡大する.....	48
エフェクト機能を使う.....	49
ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う...	53
フリーズ機能を使う.....	54
ユーザーロゴを投写する.....	55
ヘルプ機能を使う.....	56

メニュー画面の操作（リモコンのみ） 57



メニューを使う.....	58
--------------	----

困ったときに 93



故障かなと思ったら.....	94
インジケータを見てもわからないとき.....	96

メンテナンス

105



本体の掃除・レンズの掃除・エアフィルタの掃除 ...	106
ランプの交換	108
エアフィルタの交換	110

その他

111



オプション品	112
輸送方法について	113
用語解説	114
索引	116
仕様	118
保証とアフターサービス	119
国際保証制度	120

小型で軽量

小型(4.0リットル) 軽量(約2.6kg)のコンパクトボディで、持ち運びが簡単にできます。

くっきり鮮やかな画面

小型でありながら明るいところでも、くっきり鮮やかなプレゼンテーションが可能です。

UXGA対応

新開発の高精細液晶パネルを採用し、VGA～UXGA60までの解像度に対応しています。

解像度の自動変換が可能 30～33ページ

エプソンオリジナル画像圧縮技術 DAR (Digital Active Resizing) を採用し、VGA～UXGA60 までのコンピュータ信号を、画面いっぱいに投写することができます。

全世界のビデオ信号に対応

NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM と全世界で使われているほとんどのビデオ信号を投写することができます。

ビデオ映像の鮮明さを追求

新クロマ回路の採用により、コンポジットビデオ、Sビデオ入力に対応し、鮮明なビデオ映像が投写できます。


キーストーン補正機能 28、76ページ

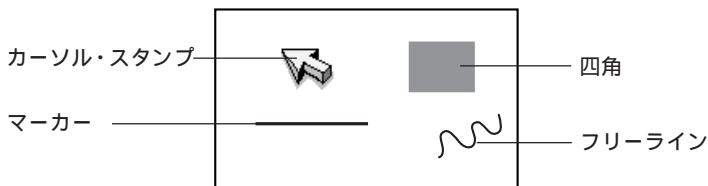
簡単な操作で、投写角度による台形歪みを補正する機能を内蔵しました。


ワイヤレスマウスリモコン装備 46ページ

プロジェクターの操作はもちろん、画面のページめくりや映像を拡大するなど、さまざまな機能をワイヤレス操作できます。

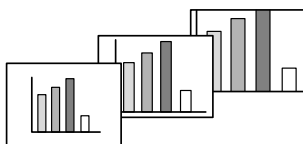
ELP-500はVGA～SXGAの対応となります。


プレゼンテーション装飾機能
(リモコンのEffectボタン)  49ページ
プレゼンテーションを効果的に演出できます。



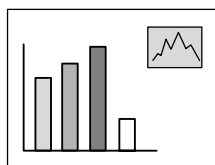
Eズーム機能(リモコンのE-Zoomボタン)
 48ページ

映像の拡大ができます。(標準 たて、横のサイズで4倍)



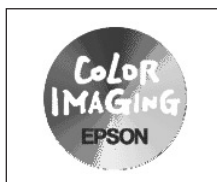
ピクチャー・イン・ピクチャー機能  53ページ

現在表示されているコンピュータ映像の中に、ビデオ映像を子画面として表示することができます。



ユーザーロゴ設定機能  55ページ

企業ロゴなどを画像から取り込み、スタートアップ時やプレゼンテーションの準備中に写し出すことができます。



絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



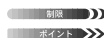
警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



説明の追加・覚えていると便利な内容などを記載しています。



説明文が次ページに続くことを示します。



参照ページを示します。



操作手順です。

*

用語解説をご覧ください。(114ページ～115ページ)

「本機」または「本プロジェクター」という表記について
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

海外でお使いになる場合の電源コードについて

本プロジェクターに付属の電源コードは、電気用品取締法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。国外で使用する場合は、その国の規格に適合する電源コードをご使用ください。

海外の一般的な条件

次の条件は各国共通のものです。

1. 電源コードは、プロジェクターを使用する国の承認機関による承認マークを付けた3線コード（接地付き）でなければなりません。
2. 電源コードは、最小許容電流7A、公称定格電圧125V、または250Vの交流用のものでなければなりません。
3. 電源コードの長さは、4.5m以内でなければなりません。
4. カプラ（壁用のプラグでなく、本体と接続するコネクタの部分）は、EN 60320/IEC 320規格のインレット（標準シートC13）に適合するものでなければなりません。

国別承認機関

国名	承認機関	国名	承認機関
アメリカ	UL	スウェーデン	SEMKO
カナダ	CSA	デンマーク	DEMKO
イギリス	BSI	ドイツ	VDE
イタリア	IMQ	ノルウェー	NEMKO
オーストラリア	EANSW	フィンランド	FIMKO
オーストリア	OVE	フランス	UTE
スイス	SEV	ベルギー	CEBC

注：アメリカ、カナダのコードは、SJTまたはSVTタイプの3線コードでなければなりません。



ELP-710/700/500

ご使用になる前に

安全上のご注意

2

各部の名前と働き

6

安全上のご注意

本機を安全に正しく使用していただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠ 警告

次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスセンターにご相談ください。

- ・煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- ・投写されない、音がでない、などの故障状態になった。
- ・本機内部に水や異物が入った。
- ・本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



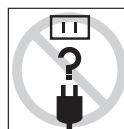
サービスマン以外の方は、本機のキャビネットを開けたりしないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。
内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。



表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。



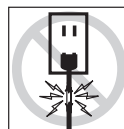
電源ケーブルは付属品を使用してください。
付属品以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



破損した電源ケーブルは、使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
また、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- ・電源ケーブルを加工しない。
- ・電源ケーブルの上に重いものを乗せない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電熱器の近くに配線しない。

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンサービスセンターに相談してください。



電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。



電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

取り扱いの際には、つぎの点を守ってください。

- ・ たこ足配線はしない。
- ・ 電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- ・ 電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- ・ 濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。
- ・ 電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。



本機内部には、レンズやランプなどのガラス部品を数多く使用しています。

万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンターに修理を依頼してください。



本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



本機の吸気口・排気口から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。



本機または電池の入ったりリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

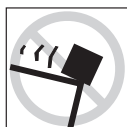


⚠ 注意

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



ぐらついた台の上・傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

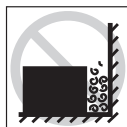


湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当
たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

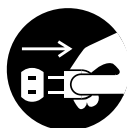


本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさ
ぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のよう
な場所には設置しないでください。

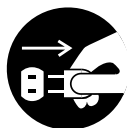
- ・押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
 - ・じゅうたん・布団・毛布などの上。
 - ・毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。
- また、壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の隙間を開けてください。



連休や旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため、
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから
抜き、すべての配線ははずしたことを確認してからおこなってください。
火災・感電の原因となることがあります。



使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切ってから約60分間経過して、プロジェクター本体が十分冷えてからおこなってください。

・熱で、やけど・けがの原因となることがあります。



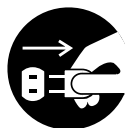
乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

- ・種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
 - ・取扱説明書指定の電池以外は使用しない。
 - ・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
 - ・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
 - ・長期間使用しないときは、電池を取り出す。
 - ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
 - ・極性（+、-）を正しく入れる。
 - ・もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
- 乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルートに従ってください。



お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。

感電の原因となることがあります。



各部の名前と働き

プロジェクター本体

前面

エアフィルタ
(吸気口)

排気口

フットレバー
フロントフット

温度インジケータ
ランプインジケータ
オペレーションインジケータ

操作パネル
スピーカ
リモコン受光部
ズームレバー
フォーカスリング
フロントフット

レンズカバー

背面

入出力端子

裏面

フロントフット

リアフット

ランプカバー

操作パネル

Powerボタン

参照 24, 35, 41 ページ
電源のON/OFFを切り替えます。

Power



Helpボタン

参照 56 ページ
トラブルが起こったときの対処方法を項目別に説明します。困ったときに押してください。

Help



Source



Enter

- Keystone +



Select

Source(Enter)ボタン

参照 25, 42 ページ
映像をコンピュータ Sビデオ
コンジットビデオの順に切り替えます。
Sビデオが入力されていないときは、コンピュータ コンジットビデオの順に切り替えます。ヘルプが表示されているときは、ヘルプの項目決定ボタンとして動作します。

Keystone(<Select>)ボタン

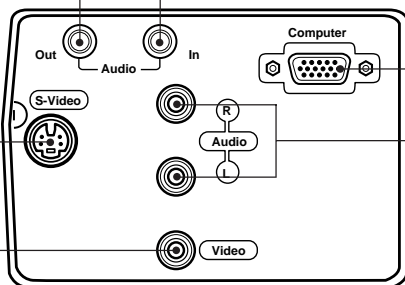
参照 28, 76 ページ
画面が台形に歪んだ時に調整します。ヘルプが表示されているときは、<Select>(上下キー)として動作します。

入出力端子(背面)

Audio Out端子
 参照22 ページ
 プロジェクターの音声信号を出力します。

S-Video端子
 参照40 ページ
 A/V機器からのS映像信号を入力します。

Video端子
 参照40 ページ
 A/V機器からの映像信号を入力します。

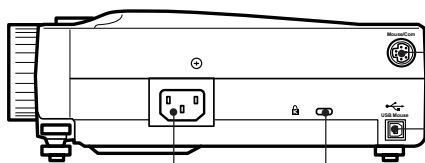


Audio In端子
 参照21 ページ
 コンピュータからの音声信号を入力します。

Computer端子
 参照20 ページ
 コンピュータからの映像信号を入力します。

L-Audio -R端子
 参照40 ページ
 A/V機器からの音声信号を入力します。

側面



電源端子 盗難防止用ロック*

Mouse/Com端子
 参照47 ページ
 ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときにコンピュータと、PS/2マウスケーブルまたはMACマウスケーブルで接続します。

USB Mouse 端子
 参照47 ページ
 ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときにコンピュータとUSBマウスケーブルで接続します。

リモコン

表側

インジケータ
リモコン信号を出力しているときに発光します。

Freezeボタン
参照 54 ページ
動いている映像を一時停止します。もう一度押しと解除します。

A/V Muteボタン
参照 55 ページ
映像と音声を一時的に消します。そのときユーザーロゴを投写することもできます。もう一度押し、音量を調整すると解除します。

E-Zoomボタン
参照 48 ページ
Eズーム機能を実行します。ピクチャーインピクチャーの映像を拡大します。[Esc] ボタンを押すと解除します。

Effectボタン
参照 49 ページ
割り当てられた装飾機能を実行します。

照光ボタン
リモコンの全ボタンが約 10 秒間点灯します。約 10 秒間何も操作しないと消灯します。

Escボタン

- 現在実行中の機能を終了します。
- メニューやヘルプが表示されている場合は、現在の階層から 1 つ上の階層に戻ります。
- 映像がコンピュータの場合、マウスの右クリックとして動作します。

リモコンの発光部
リモコン信号を出力します

Powerボタン
参照 24, 35, 41 ページ
本体電源の ON/OFF を切り替えます。

R/C ON OFFスイッチ
参照 24, 36, 41 ページ
リモコン電源の ON/OFF を切り替えます。このスイッチが「ON」になっていないとリモコンの各操作ができません。

Enterボタン


- 押した場合メニューの項目を決定します。下に階層がある場合は、現在の階層から 1 つ下の階層に進みます。
- 映像がコンピュータの場合、マウスの左クリックとして動作します。
- Enterボタンの上下、左右を倒すとワイヤレスマウスとして倒した方向にポインタが移動します。
- メニューが表示されている場合、調整項目の選択をします。Enterボタンの上下、左右を倒すと倒した方向にバーが移動します。


縮小 拡大


EPSON


カバー内部


Menu ボタン  58 ページ
メニューを表示または終了します。

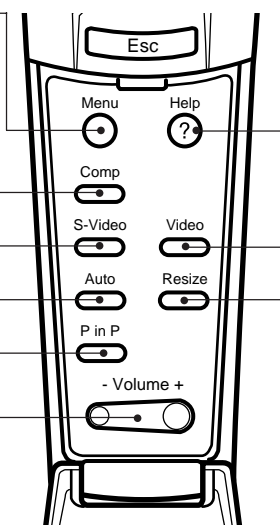
Comp ボタン  25 ページ
Computer 端子からの映像に切り替えます。


S-Video ボタン  42 ページ
S-Video 端子からの映像に切り替えます。


Auto ボタン  29 ページ
コンピュータ映像の最適化を行います。


P in P ボタン  53 ページ
コンピュータ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。もう一度押すか、**Esc** ボタンを押すと解除します。

Volume ボタン  34 ページ
音量を調整します。

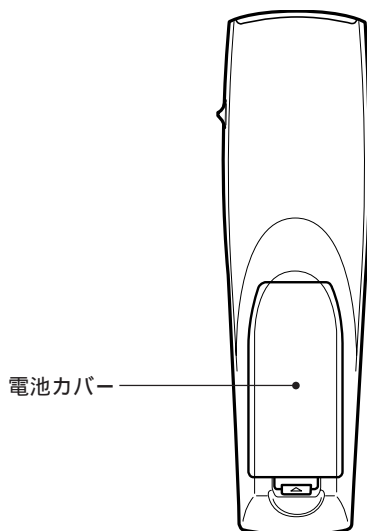


Help ボタン  56 ページ
トラブルが起こったときの対処方法を項目別に説明します。困ったときに押してください。

Video ボタン  42 ページ
Video 端子からの映像に切り替えます。

Resize ボタン  30, 32, 43 ページ
コンピュータ映像入力時は、ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像入力時はアスペクト比4:3と16:9を切り替えます。

裏面



電池カバー

リモコンで操作できる範囲

本体受光部との距離や角度によっては、リモコンで操作できない場合があります。以下の条件で使用してください。

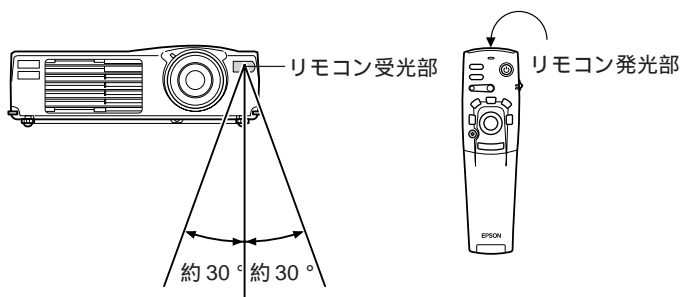
操作可能距離:約10m

ポイント

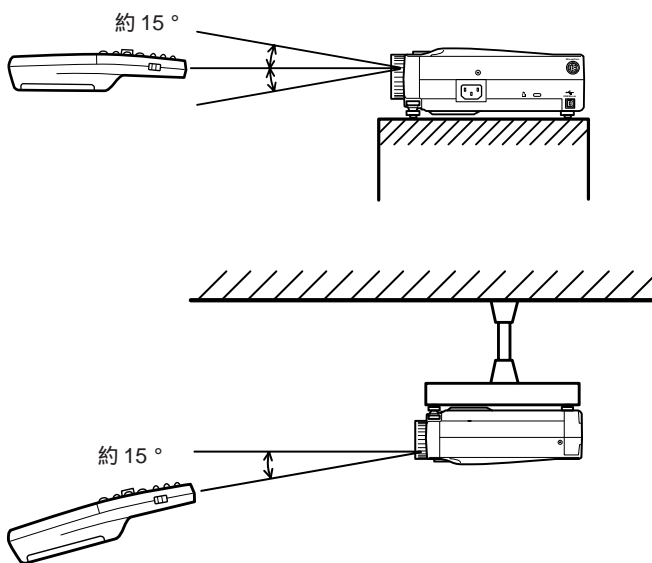
- ・リモコンをご使用になる場合は、リモコンのR/C ON/OFFスイッチを「ON」にする必要があります。
- ・リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。
- ・リモコンをスクリーンに向けて、信号を反射させてお使いのときは、スクリーンの種類により操作可能距離(約10m)が短くなることがあります。
- ・リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが当たらないようにしてください。リモコンが誤動作することがあります。
- ・リモコンが操作できなかったり、誤動作するときは、電池の交換時期と考えられます。電池を新しいものに交換してください。

操作可能範囲

左右



上下



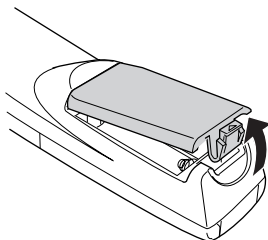
リモコンへの電池の入れかた

リモコンに電池を入れる方法について説明します。

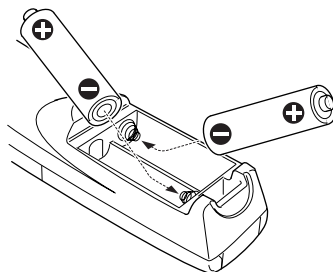
⚠ 注意

種類が同じで新しい乾電池を入れてください。

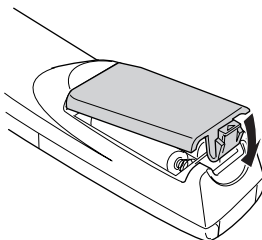
- ① 電池カバーを外します。
電池カバーのひっかけ部を、矢印の方向へスライドさせます。



- ② 電池を入れます。
必ずリモコンの⊕⊖の表示に合わせてください。



- ③ 電池カバーを収納します。
カチッと音がするまで、電池カバーを本体に押し付けます。



ポイント

- ・ 指定乾電池
単3形アルカリ乾電池 (LR6) 2本
- ・ 電池の交換時期は1日30分使用した場合で約3ヶ月程度です。



ELP-710/700/500

設置

設置

14

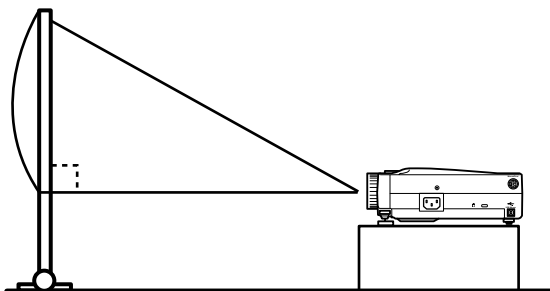
設置時の注意

プロジェクターとスクリーンを下図のように直角に設置したときに、最適な画面になります。このように本体とスクリーンを設置してください。

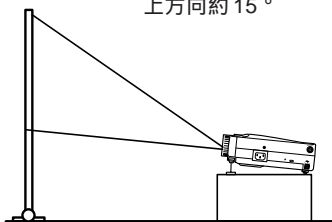
⚠ 注意

- ・ 本体前面の排気口や、本体上面のエアフィルター(吸気口)をふさがないようにしてください。
- ・ 本体上面のエアフィルターに、布や紙などが吸着されることもありますので、投写中確認してください。
- ・ 本体に、エアコンやヒーターなどの風が直接当たらないようにしてください。
- ・ 壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。
- ・ 本機の上には毛布・カーテン・テーブルクロスなどの布をかけないでください。

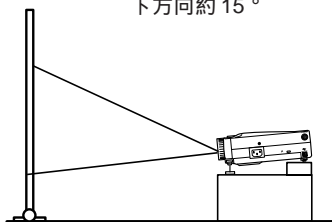
左または右から見たとき



上方向約 15°

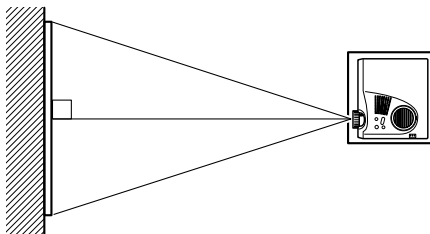


下方向約 15°



キーストーン補正により台形歪みを補正できます。📖28,76 ページ

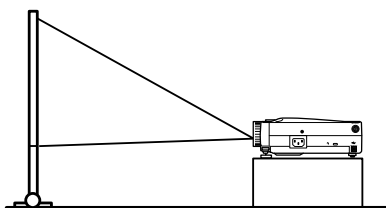
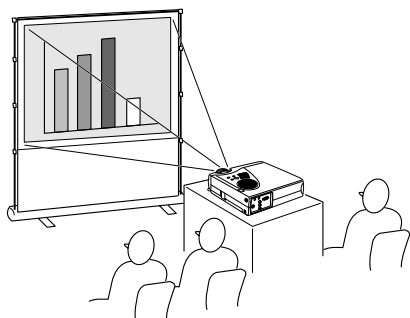
上または下から見たとき



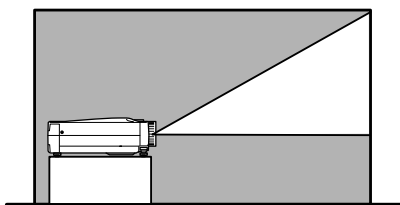
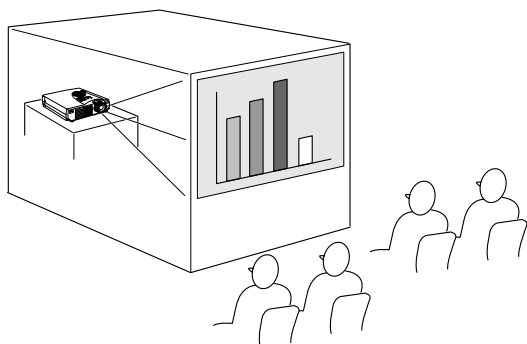
設置方法

本機の投写方法は、次の2種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

正面から映像を見るとき



半透過性のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見るとき



スクリーンサイズと投写距離について

お好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。

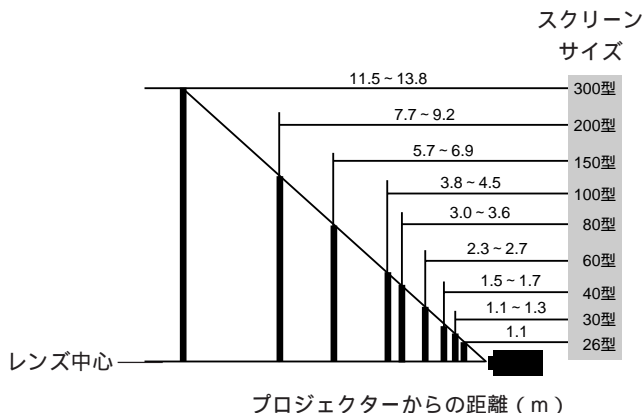
プロジェクターの投写レンズはおおよそ 1.2 倍ズームですので、最大拡大時は、最小時の約 1.2 倍のサイズで投写できます。推奨範囲は 1.1m - 13.8m です。下の表を参考に設置してください。

スクリーンサイズ (cm)	おおよその投写距離 (m)
300 型 (610 x 460)	11.5 - 13.8
200 型 (410 x 300)	7.7 - 9.2
150 型 (305 x 228)	5.7 - 6.9
100 型 (200 x 150)	3.8 - 4.5
80 型 (160 x 120)	3.0 - 3.6
60 型 (120 x 90)	2.3 - 2.7
40 型 (81 x 61)	1.5 - 1.7
30 型 (61 x 46)	1.1 - 1.3
26 型 (53 x 40)	1.1

「おおよその投写距離」は設置のめやすにしてください。投写条件などで変わる場合があります。

ポイント

キーストーン補正をすると画面が小さくなります。



ELP-710/700/500

コンピュータ映像を写す

接続できるコンピュータ	18
コンピュータとの接続	20
外部オーディオ機器で音を出す	22
投写する	23
調整する	26
終了する	35

接続できるコンピュータ

コンピュータのモデルによっては、接続できないものや、接続はできて投写できないものがあります。接続するコンピュータの仕様が、下の2条件にあてはまるか確認してください。

条件1： 接続するコンピュータに映像信号の出力ポートがあること

コンピュータに、映像信号を出力させるポートが付いているか確認してください。映像信号を出力させるポートは、「RGBポート」「モニタポート」「ビデオポート」などと呼ばれています。

接続するコンピュータの取扱説明書「外付けのモニタを接続する」などをご覧になり、映像信号の出力ポートがあるか確認してください。

コンピュータとモニターが一体型のタイプや、ノートパソコンによっては外部出力ポートを別途購入していただかなければならない場合があります。また、外部出力ポートが取り付けられない場合があります。

ポイント

19ページ記載の一覧表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。

条件2： コンピュータの解像度と周波数が19ページの記載仕様範囲内であること

コンピュータから出力される映像信号の解像度と周波数が、本プロジェクターで対応できないものは投写ができません。(一部投写できるものもありますが、鮮明な投写はできません。)

接続するコンピュータの取扱説明書で、映像信号の解像度と周波数を確認してください。

接続できるコンピュータの対応モード表

: フル対応 : ELP による圧縮表示

モード	表示解像度		走査周波数			モデル	
	H	V	H(KHz)	V(Hz)	Pixel(MHz)	ELP-710/700	ELP-500
VGACGA	640	400	31.46	70	25.175		
VGAEGA	640	350	31.46	70	25.175		
NEC400	640	400	24.83	56.65	21.053		
VGA60	640	480	31.469	59.94	25.175		
VGA72	640	480	37.861	72.809	31.5		
VGA75	640	480	37.5	75	31.5		
VGA85	640	480	48.269	85.008	36		
SVGA56	800	600	35.156	56.25	36		
SVGA60	800	600	37.879	60.317	40		
SVGA72	800	600	48.077	72.188	50		
SVGA75	800	600	46.875	75	49.5		
SVGA85	800	600	53.674	85.061	56.25		
XGA43I	1024	768	35.522	86.958	44.9		
XGA60	1024	768	48.363	60.004	65		
XGA70	1024	768	56.476	70.069	75		
XGA75	1024	768	60.023	75.029	78.75		
XGA85	1024	768	68.677	84.997	94.5		
SXGA1_70	1152	864	63.851	70.012	94.5		
SXGA1_75	1152	864	67.5	75	108		
SXGA1_85	1152	864	77.094	84.999	121.5		
SXGA2-60	1280	960	60	60	108		
SXGA2-75	1280	960	75	75	126		
SXGA2-85	1280	960	85.938	85.002	148.5		
SXGA3_43I	1280	1024	46.433	86.871	78.75		
SXGA3_60	1280	1024	63.981	60.02	108		
SXGA3_75	1280	1024	79.976	75.025	135		
SXGA3_85	1280	1024	91.146	85.024	157.5		
UXGA48I	1600	1200	62.5	96.08	135		-
UXGA60	1600	1200	75	60	162		-
MACLC13	640	480	34.975	66.62	31.33		
MAC II 13	640	480	35	66.67	30.24		
MAC16	832	624	49.725	74.55	57.28		
MAC19-60	1024	768	48.193	59.28	64		
MAC19	1024	768	60.241	74.93	80		
MAC21	1152	870	68.682	75.062	100		
NTSC	1024	480	15.734	60	-		
PAL	1024	576	15.625	50	-		
SECAM	1024	576	15.625	50	-		

パーソナルコンピュータとの接続

⚠ 注意

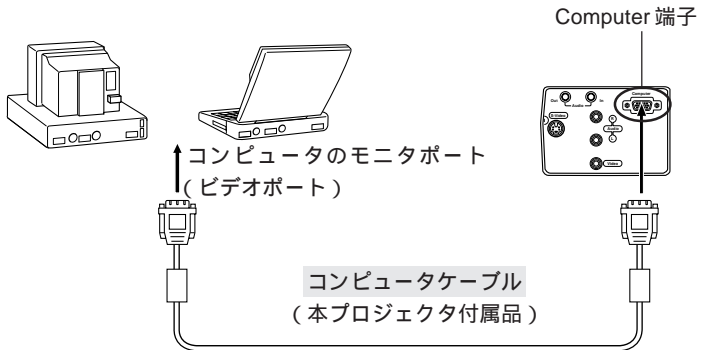
- ・接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ・ケーブルのコネクタ形状と端子形状を確認して接続してください。形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損につながります。



ポイント

- ・本プロジェクターを使用するときは、電源ケーブルとコンピュータケーブルは、一緒に結束しないでください。誤動作の原因になります。
- ・接続の際、コンピュータのモデルによっては、コンピュータに付属または市販のアダプタ類が必要になる場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。お買い上げの販売店にご相談ください。

コンピュータ映像を写す

コンピュータの映像をプロジェクターから投写すると大画面でプレゼンテーションすることができます。



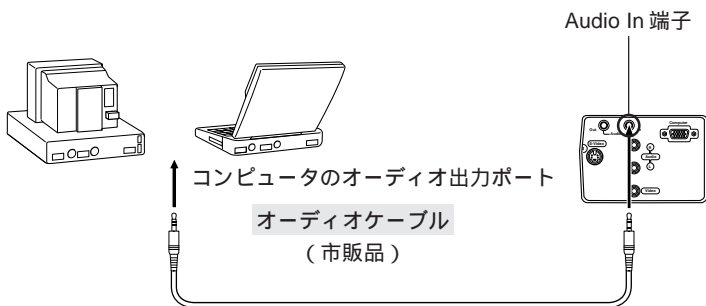
ポートの形状が (ミニ D-Sub 15 pin) 以外の場合は、コンピュータに付属または市販のアダプタ等を使い、ポートの形状を (ミニ D-Sub 15 pin) に変換してください。

Macintoshと接続するときは、オプションのMACデスクトップアダプタおよび、MAC モニタアダプタが必要になる場合があります。

ポイント

- ・コンピュータからのオーディオ信号はコンピュータ映像が選択されているときに出力します。
- ・オーディオケーブルはコンピュータ側の出力端子形状とプロジェクター側のAudio In端子形状に合ったものをご購入ください。

コンピュータの音声をプロジェクターから出す
コンピュータの音声をプロジェクター内蔵のスピーカから出力
することができます。本プロジェクターでは、最大1Wで出力
することができます。



外部オーディオ機器で音を出す

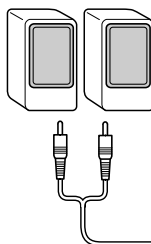
本機の「Audio Out」端子とPAシステムやアクティブスピーカシステムなどのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。

市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ) 3.5mm(ステレオミニジャックプラグ)などを使用します。

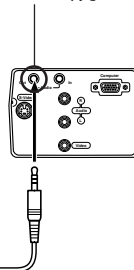
ポイント

- ・音声出力端子へピンプラグを入れたら、音声は外部へ自動的に出力されます。このとき本体のスピーカから音声は出力されません。
- ・投写している映像の音声を出力しますが、ビデオ機器の場合は、R-Audio-L端子に接続されている機器の音声を出力します。
- ・オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部形状をよく確認してからお買い求めください。

外部オーディオ機器



Audio Out 端子



オーディオ接続ケーブル (市販品)

投写する

それでは、コンピュータからの映像を写してみましよう。

準備

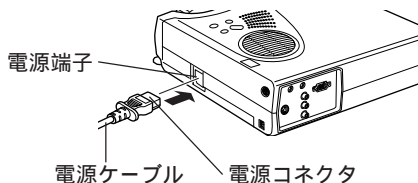
⚠ 警告

- ・電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光で視力障害などの原因となります。
- ・電源ケーブルは、付属品を使用してください。付属品以外を使用すると火災・感電の原因となります。

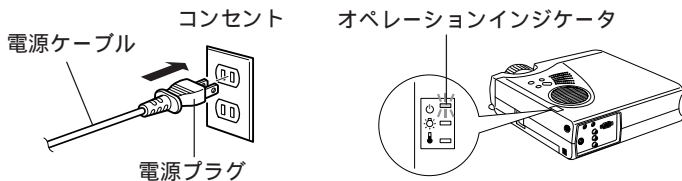
⚠ 注意

レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

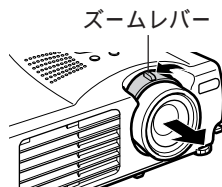
- ① プロジェクターとコンピュータが接続されていることを確認します。
- ② レンズカバーをはずします。
- ③ プロジェクターに「電源ケーブル(本プロジェクター付属品)」を取り付けます。
プロジェクターの電源端子と、電源コネクタの形状を合わせて、しっかりと奥まで差し込んでください。



- ④ 「電源プラグ」をコンセントに差し込みます。
「オペレーションインジケータ」が点灯します。



- ⑤ ズームレバーをセンター位置まで回し、レンズを出します。



ポイント

「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅中はボタン操作ができません。

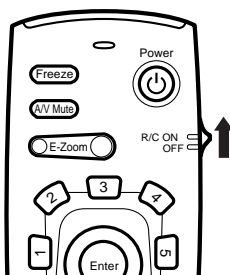
ポイント

ズームレバーをセンター位置まで回さないとピントが合いません。

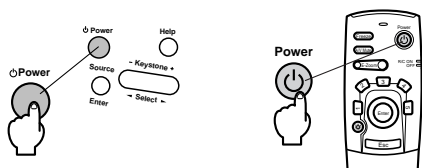
投写

準備ができたなら実際に投写してみましょう。

- 1 リモコンを使う場合は、リモコンのR/C ON OFFスイッチを「ON」にします。



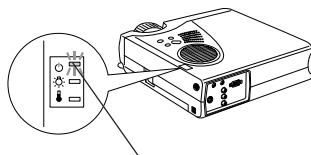
- 2 **Power** ボタンを押し、電源を入れます。「オペレーションインジケータ」が緑の点滅に変わり、投写が始まります。



約 30 秒後「オペレーションインジケータ」が緑色の点滅から点灯に変わります。



「映像信号が入力されていません」と表示されます。設定により表示されない場合があります。

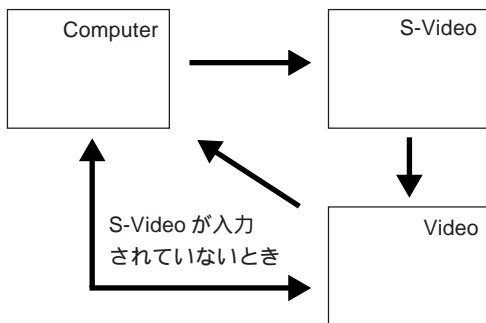
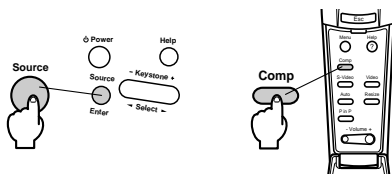


オペレーションインジケータが緑に点灯

- ③ **Source** ボタンを押し、コンピュータの映像を選びます。(リモコンのときは、**Comp** ボタン)

Source ボタンは一回押すごとにComputer、S-Video、Videoの映像を切り替えます。

S-Video 端子に何も入力されていないときは、Computer Videoの映像を切り替えます。



ポイント

- ・「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。
- ・同一の静止画像を長時間投写していると、投写映像に残像が残る場合があります。

- ④ コンピュータの電源を入れ、投写を開始します。「映像信号が入力されていません」の表示が消え、コンピュータからの映像信号が投写されます。

ノートタイプや液晶一体型タイプの設定

ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。

設定のしかたは、それぞれのコンピュータにより異なりますので、接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外部モニタへの出力」などをご覧ください。

なお、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなうと、LCD画面に映像が出なくなるものがあります。

コンピュータの信号を外部に出力させる設定の詳細は、コンピュータ付属の取扱説明書をご覧ください。

映像の調整

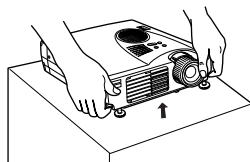
映像を最適な状態にする方法です。

投写位置の調整

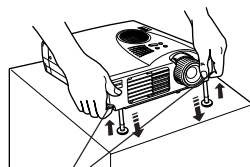
プロジェクターの投写角度を修正します。

投写ができるだけスクリーンと直角になるように調整してください。

- 1 プロジェクターを投写したい角度に持ち上げます。

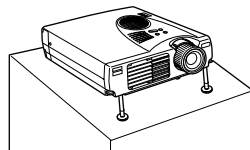


- 2 フットレバーを指で引き上げます。
フロントフットが出てきます。

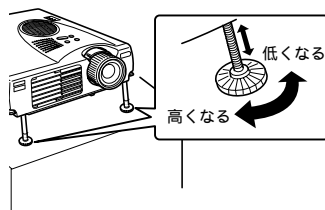


フットレバー

- 3 フットレバーから指を離れた後、本体から手を離します。



- 4 高さを微調整します。
フロントフット下部を回して、高さを微調整します。



ポイント

収納のしかた
37ページ

スクリーンサイズ(ズーム)の調整

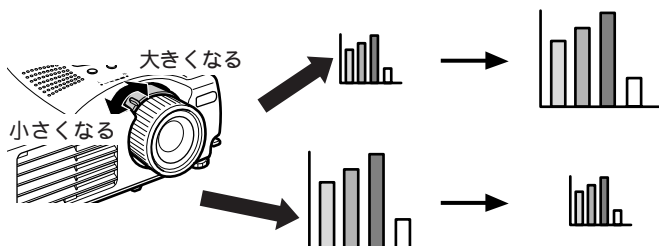
スクリーンに合わせてスクリーンサイズを調整します。

本体のズームレバーでの調整

ポイント

ズームレバーが「W」(センター)位置で約1.2倍のズームになります。「W」(センター)位置よりレンズに向かって右方向に回すと、レンズが本体内に収納されていき、ピントが合わなくなります。「W」から「T」までの間でお使いください。

- 1 プロジェクターの「ズームレバー」を回して調整します。(1.2倍までズームで拡大できます。)



さらに大きく(小さく)したいときは、設置距離で調整してください。

16 ページ

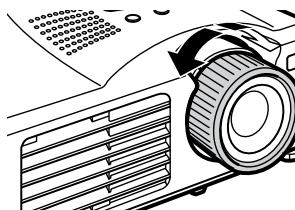
フォーカス(ピント)の調整

映像のピントを合わせます。

ポイント

- ・レンズが汚れていたり、結露しているときはフォーカス(ピント)が合いませんので、汚れや結露を取り除いてください。
 106 ページ
- ・調整できないときは、設置距離が1.1 m - 13.8 mの範囲にあるか確認してください。

- 1 プロジェクターの「フォーカスリング」を回してピントを合わせます。



キーストーン補正(本体のボタンによる補正)

フットレバーにより投写角度を変えたとき、キーストーン補正機能を使って、台形歪みを上下約 15° 補正することができます。

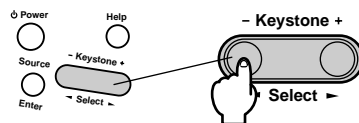
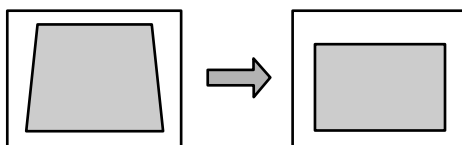
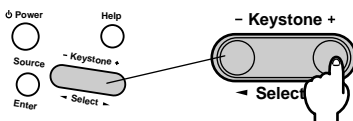
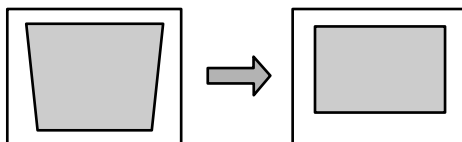
Keystoneボタンによるキーストーン補正

ポイント

- ・キーストーン補正をすると画面が小さくなります。
- ・キーストーン補正した状態は記憶されています。次回投写位置や角度を変えたときは再調整してください。
- ・キーストーン補正によりムラが目立つ場合は、「映像」・「シャープネス」で、シャープネスを下げてください。

① **Keystone** ボタンを押し、台形歪みが少なくなるようにします。

キーストーン : 0



画像の調整(リモコンのみ)

ポイント

E-Zoom、A/V ミュートやP in P などを実行しているときに、**[Auto]** ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。

コンピュータ映像を最適化する **[Auto]**

コンピュータ入力信号を自動的に最適な調整値に設定します。入力がビデオ信号のときは、機能しません。自動設定される調整値は以下のとおりです。

- ・トラッキング
- ・表示位置(上下/左右)
- ・同期

1 **[Auto]** ボタンを押します。

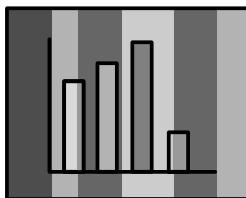
信号の種類によっては、最適な状態に設定されない場合があります。そのときは、以下に従って調整してください。詳細は「メニュー画面の操作」をご覧ください。📖60ページ～

ポイント

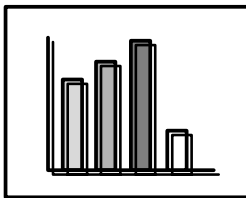
- ・映像の乱れの調整をした後、コンピュータからの映像信号の変更(出力モードの変更や表示色の変更など)により映像の乱れが再発生したり、調整値が変化したりする場合があります。
- ・「ちらつき」や「ぼやけ」は、明るさやコントラスト*の調整で起こることもあります。
- ・トラッキングを調整してから同期を調整したほうが、鮮明に調整できます。
- ・コンピュータからの映像信号が入っていないときは、映像の調整ができません。
- ・ビデオ映像を投写しているときは「トラッキング」、「同期」の調整はできません。

映像に縦の縞模様が出る時の調整

メニューを開き、「映像メニュー」から「トラッキング*」を調整します。



映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズなどが発生するときメニューを開き、「映像メニュー」から「同期*」を調整します。



入力映像をそのまま見たいとき(リモコンのみ)

Resize(ELP-710/700の場合)

リサイズング表示とウィンドウ表示を、**Resize** ボタンで切り替えることができます。

リサイズング表示とは

本機対応解像度と入力信号が違っていても、解像度を自動処理してスクリーンサイズいっぱいには投影します。通常のプレゼンテーションのとき使います。(標準設定)

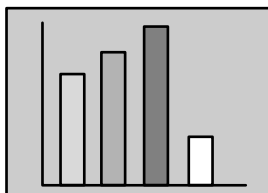
ウィンドウ表示とは

入力解像度のまま投影します。コンピュータ解像度のまま投影したいときに使います。

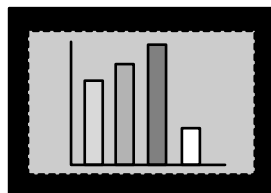
リサイズング表示とウィンドウ表示の切り替え

- ・入力解像度が1,024 × 768 (XGA*)より低い場合...800 × 600 (SVGA*) など

リサイズング表示

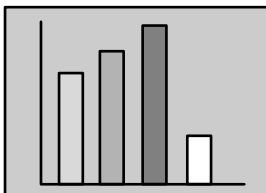


ウィンドウ表示

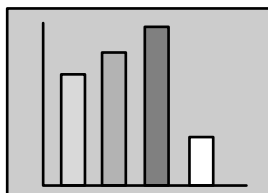


- ・入力解像度が1,024 × 768 (XGA)の場合...本機の対応解像度1,024 × 768 (XGA)と同じため、リサイズング表示、ウィンドウ表示、共にスクリーンサイズいっぱいに投影します。

リサイズング表示



ウィンドウ表示



ポイント

Resize ボタンを1回押すことに切り替わります。

ポイント

リサイズング表示
 ・800 × 600の映像を1,024 × 768(本機の投影サイズ)に拡大して投影します。
 ウィンドウ表示
 ・800 × 600の映像のまま投影します。1,024 × 768(本機の投影サイズ)より映像は小さくなります。

ポイント

Resize ボタンを押しても表示は変わりません。

- ・ 入力解像度が 1,024 × 768 (XGA) より高い場合...
1,280 × 1,024 (SXGA) など

ポイント

Resize ボタンを 1 回
押すごとに切り替わり
ます。

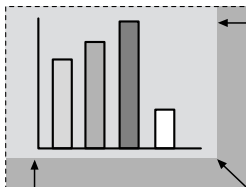
ポイント

1,280 × 1,024 の映像を
1,024 × 768 (本機の投
写サイズ) に縮小して投
写します。

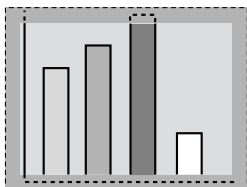
ポイント

1,280 × 1,024 の映像の
まま投写します。
1,024 × 768 (本機の投
写サイズ) 以上の映像部
分は写らなくなります。

リサイジング表示

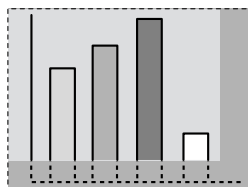


ウィンドウ表示 5



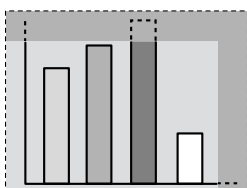
中央部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 1



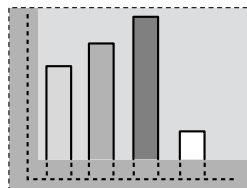
左上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 4



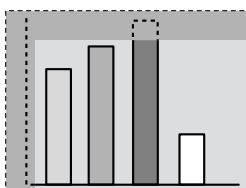
左下部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 2



右上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 3



右下部分の映像を投写します

入力映像をそのまま見たいとき(リモコンのみ)

Resize(ELP-500の場合)

リサイズング表示とウィンドウ表示を、**Resize** ボタンで切り替えることができます。

リサイズング表示とは

本機対応解像度と入力信号が違っていても、解像度を自動処理してスクリーンサイズいっぱいに投写します。通常のプレゼンテーションのとき使います。(標準設定)

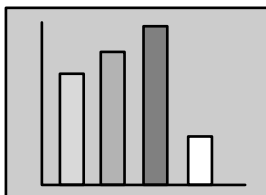
ウィンドウ表示とは

入力解像度のまま投写します。コンピュータの解像度のまま投写したいときに使います。

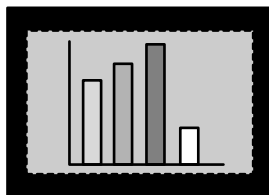
リサイズング表示とウィンドウ表示の切り替え

- 入力解像度が800×600(SVGA*)より低い場合...640×480(VGA*)など

リサイズング表示



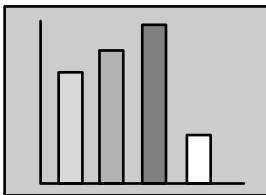
ウィンドウ表示



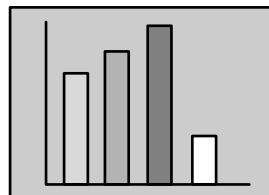
本機の対応解像度

- 入力解像度が800×600(SVGA)の場合...本機の対応解像度800×600(SVGA)と同じため、リサイズング表示、ウィンドウ表示、共にスクリーンサイズいっぱいに投写します。

リサイズング表示



ウィンドウ表示



ポイント >>>

Resize ボタンを1回押すごとに切り替わります。

ポイント >>>

リサイズング表示

- 640×480の映像を800×600(本機の投写サイズ)に拡大して投写します。

ウィンドウ表示

- 640×480の映像のまま投写します。800×600(本機の投写サイズ)より映像は小さくなります。

ポイント >>>

Resize ボタンを押しても表示は変わりません。

- 入力解像度が 800 × 600 (SVGA) より高い場合...
1,024 × 768 (XGA) など

ポイント

Resize ボタンを 1 回
押すごとに切り替わり
ます。

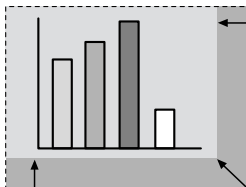
ポイント

1,024 × 768 の映像を
800 × 600 (本機の投写
サイズ) に縮小して投写
します。

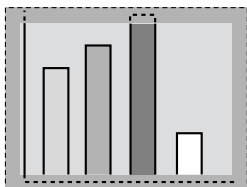
ポイント

1,024 × 768 の映像の
まま投写します。
800 × 600 (本機の投写
サイズ) 以上の映像部分
は写らなくなります。

リサイジング表示

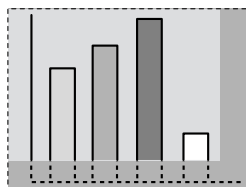


ウィンドウ表示 5



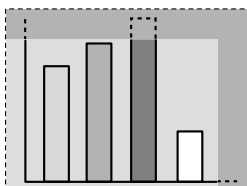
中央部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 1



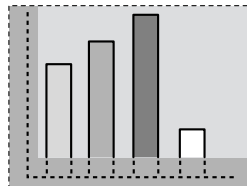
左上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 4



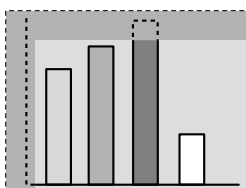
左下部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 2



右上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 3



右下部分の映像を投写します

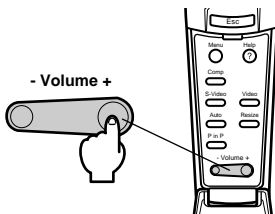
音声の調整(リモコンのみ)

音声を聞きやすい音量に調整します。

ポイント

音声信号が入っていないときは調整できません。

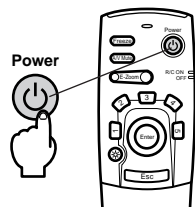
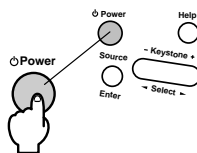
Volume +、- ボタンで調整します。



終了する

- 1 **Power** ボタンを押します。
パワー OFF 確認のメッセージが表示されます。

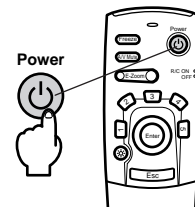
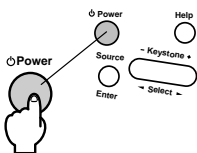
パワーOFFしますか？
パワーOFFする場合は
もう一度**Power**を押して下さい。



ポイント

電源を切りたくないときは他のボタンを押してください。またそのまま何もしないと7秒後にメッセージが消えます。

- 2 もう一度 **Power** ボタンを押します。
ランプが消灯し「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅します。
「オペレーションインジケータ」はクールダウン終了後にオレンジの点灯に変わります。(スタンバイ状態)
クールダウンにかかる時間は外気温等によって変わります。



ポイント

- ・「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅している時は、クールダウンランプを冷やす動作中です。クールダウン中はボタン操作ができません。クールダウンが終了し、「オペレーションインジケータ」がオレンジの点灯になってから、ボタン操作ができるようになります。
- ・コンセントから電源プラグを抜かないと、オペレーションインジケータは消灯しません。

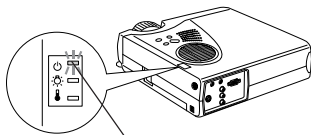
注意

「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅しているときは、「電源プラグ」をコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

ポイント

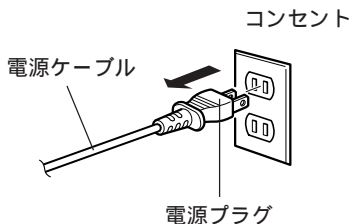
リモコンの R/C ON OFFスイッチを「OFF」にしないと少量の電流がリモコンに供給され電池が消耗します。長時間リモコンを使わないときや移動の際には R/C ON OFFスイッチを「OFF」にしてください。

- 3 「オペレーションインジケータ」がオレンジの点灯になっていることを確認します。

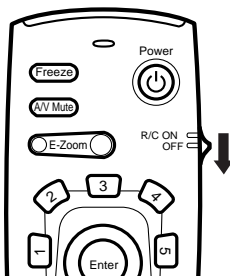


オペレーションインジケータがオレンジに点灯

- 4 「電源プラグ」をコンセントから抜きます。



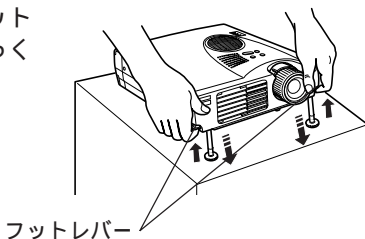
- 5 リモコンの R/C ON OFFスイッチを「OFF」にします。



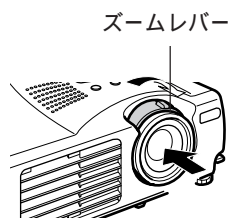
収納のしかた

投写が終わったら、フットレバーを本体に収納してください。

- 1 本体を手で支えながらフットレバーを指で引き上げ、ゆっくり本体を下に降ろします。



- 2 ズームレバーを回し、レンズを本体内に収納します。



- 3 レンズカバーを取り付けてください。

ELP-710/700/500

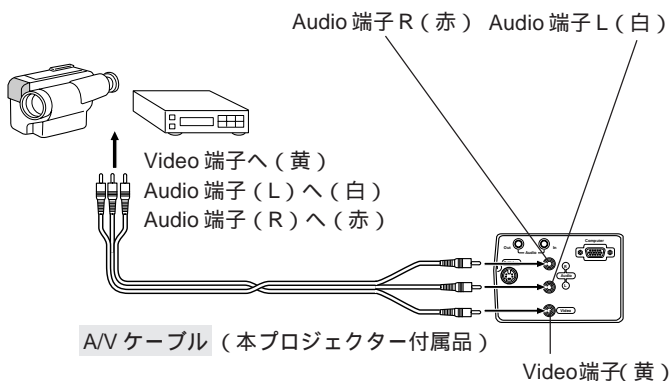
ビデオ機器映像を写す

ビデオ機器との接続	40
投写する	41
調整する	43
終了する	44

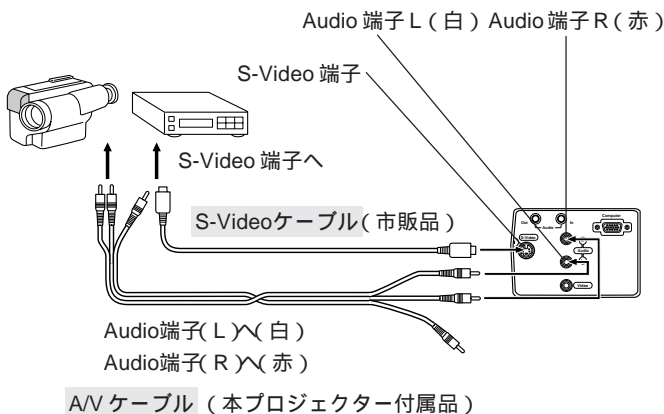
ビデオ機器との接続

PP SECTOR

コンポジット映像信号を入力するとき



S映像信号を入力するとき



外部オーディオ機器で音を出すとき

「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。📖22ページ

投写する

それでは、ビデオ機器からの映像を写してみましょう。

投写

電源ケーブルの接続は「コンピュータ映像を写す」「投写する」をご覧ください。

23 ページ

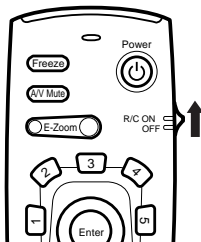
警告

- ・電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光で視力障害などの原因となります。
- ・電源ケーブルは、付属品をご使用ください。付属品以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

- ・レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

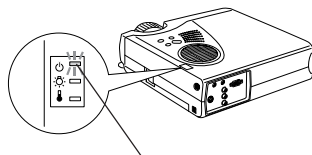
- 1 リモコンを使う場合は、リモコンのR/C ON/OFFスイッチを「ON」にします。



ポイント

約30秒後「オペレーションインジケータ」が緑の点滅から点灯に変わります。

- 2 **Power** ボタンを押し電源を入れます。「オペレーションインジケータ」が緑に点滅し、投写が始まります。



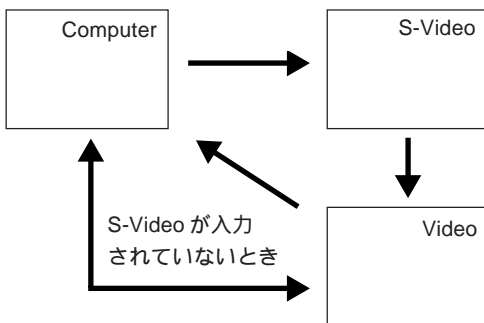
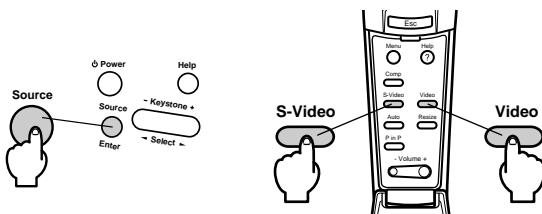
オペレーションインジケータが
緑に点滅

設定によっては「映像信号が入力されていません」と表示されます。

ポイント

接続機器がビデオ機器だけの場合は、**Video** ボタンを押さなくても、ビデオ機器映像が投写されます。

- ③ **Source** ボタンを押してビデオ映像を選びます。
Source ボタンは1回押すごとに Computer、S-Video、Video の映像を切り替えます。S-Video 端子に何も入力されていないときは、Computer、Video の映像を切り替えます。(リモコンの場合は、**Video** または **S-Video** ボタンで切り替えます。)



- ④ ビデオ機器の電源を入れ、投写を開始します。





ポイント

- ・「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。
- ・DVDプレーヤーなどからワイドテレビ対応(16:9の映像)の信号を入力したときは、**Resize** ボタンを押してください。(**Resize** ボタンを1回押すごとに、4:3へ圧縮した映像と16:9のワイド映像が切り替わります。)

- ⑤ ビデオ機器の再生 ボタンや PLAY ボタンを押します。
「映像信号が入力されていません」の表示が消え、ビデオからの映像信号が投写されます。

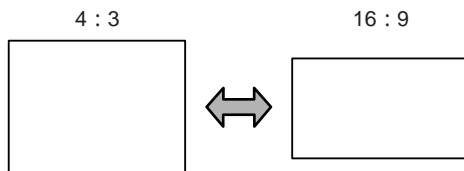
映像の調整

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

- ・ 投写位置の調整  26 ページ
- ・ スクリーンサイズ (ズーム) の調整  27 ページ
- ・ フォーカス (ピント) の調整  27 ページ
- ・ キーストーン補正  28 ページ

画像の調整(リモコンのみ)

4:3の映像と16:9の映像を切り替える **Resize**
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。



1回押すごとに切り替わります。

音声の調整

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

- ・ 音声の調整  34 ページ

終了する

終了する

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

- ・ 終了する
- ・ 収納のしかた

 35 ページ

 37 ページ

ELP-710/700/500

プレゼンテーションを演出する

ワイヤレスマウスを使う	46
映像を部分拡大する	48
エフェクト機能を使う	49
ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う	53
フリーズ機能を使う	54
ユーザーロゴを投写する	55
ヘルプ機能を使う	56

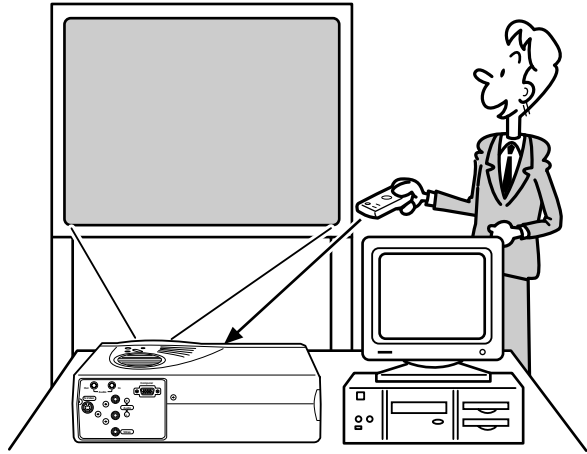
ワイヤレスマウスを使う

付属のリモコンで、離れた場所にあるコンピュータを操作できます。

- ・リモコンの **[Esc]** ボタンがマウスの右クリックボタンと、リモコンの **[Enter]** ボタンがマウスの左クリックと同じ働きをします。
- ・リモコンでマウス操作ができるため、スクリーン付近でのプレゼンテーションが一人で行えます。

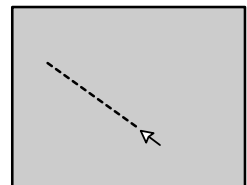
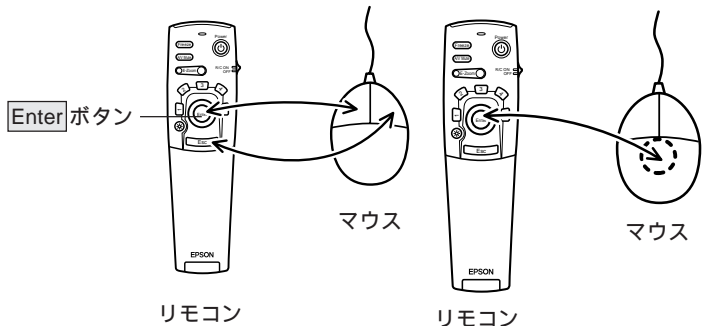
プレゼンター

一人でのプレゼンテーションが可能です



ポイント

- ・コンピュータでマウスボタンの左右を変更したときは、右の図と操作が逆になります。
- ・エフェクト・PinP・Eズーム機能使用中はこの機能は使えません。
- ・ポインタの移動速度を変えることができます。📖73ページ



接続のしかた

接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

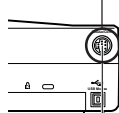
⚠ 注意

- ・電源が入ったまま接続すると、誤動作や故障の原因になります。
- ・マウスケーブルは必ず付属品を使用してください。故障の原因になります。

PS/2 マウスポート



Mouse/Com 端子



PS/2 マウスケーブル
(本プロジェクター付属品)

接続しているコンピュータによりマウスケーブルを変えてください。

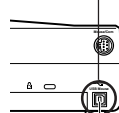
IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) のとき

- ・PS/2 マウスのとき PS/2 マウスケーブルを使用
- Macintosh のとき MAC マウスケーブルを使用

パソコンのUSB* ポートが使えるときは、USB マウスケーブルを使用することができます。



USB Mouse 端子



USB マウスケーブル
(本プロジェクター付属品)

Windows : USB インターフェイス標準搭載の Windows98 プリインストールモデルのみ対応します。
Windows3.1/95 から Windows98 へのアップグレード環境では、動作を保証いたしません。

Macintosh : USB インターフェイス標準搭載モデルのみ対応します。

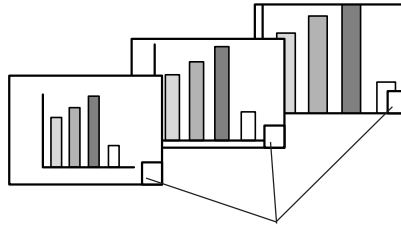
* USB インターフェイスは、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

映像を部分拡大する

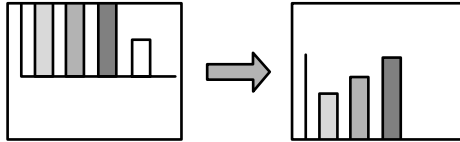
リモコンの E-Zoom ボタンでの拡大と縮小



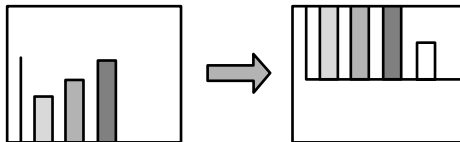
- 1 E-Zoom ボタンを押すと画面が拡大表示または縮小表示されます。([Esc] ボタンを押すと解除されます。)



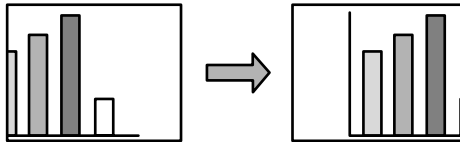
- [Enter] ボタンを上を倒すと、上方向にスクロールされます。



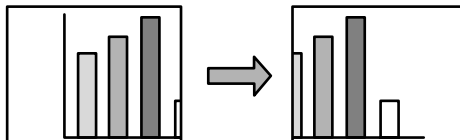
- [Enter] ボタンを下を倒すと、下方向にスクロールされます。



- [Enter] ボタンを左を倒すと、左方向にスクロールされます。



- [Enter] ボタンを右を倒すと、右方向にスクロールされます。



エフェクト機能を使う

映像に装飾を付ける Effect (リモコンのみ)

リモコンの **Effect1** ~ **Effect4** ボタンを押すことにより、プレゼンテーション中の映像に装飾を付けることができます。(**Esc** ボタンを押すと、エフェクト機能は解除されます。) 装飾の設定は「エフェクト機能の詳細を設定する(エフェクトメニュー)」をご覧ください。

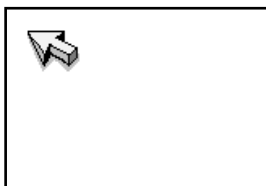
参照 70 ページ

Effect1 ボタン(カーソル/スタンプ)

ポイント

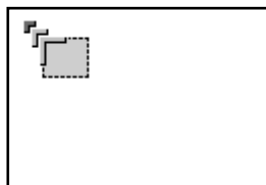
- ・ **Esc** ボタンを押すとカーソルが消えます。
- ・ **Effect5** ボタンを押すと、装飾されたものが消えます。

- 1 **Effect1** ボタンを押します。
- 2 リモコンの **Enter** ボタンで、カーソル/スタンプの位置を移動します。
- 3 **Enter** ボタンを押すと、カーソル位置にスタンプとして表示されます。



Effect2 ボタン(四角)

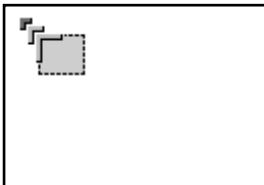
- 1 **Effect2** ボタンを押します。
- 2 カーソルを **Enter** ボタンで始点まで移動します。



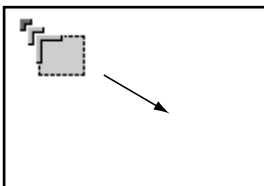
ポイント

Esc ボタンを押すと、
始点の決定をキャンセル
できます。

③ Enter ボタンを押して始点を決定します。



④ カーソルを Enter ボタンで終点まで移動します。

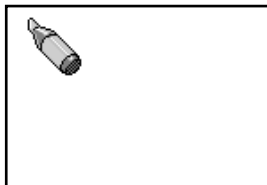


⑤ Enter ボタンを押して終点を決定します。



Effect3 ボタン(マーカー)

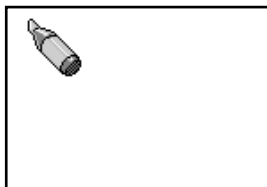
- ① Effect3 ボタンを押します。
- ② カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



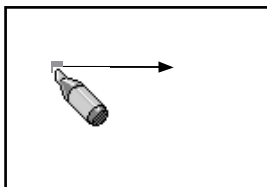
- ③ Enter ボタンを押して始点を決定します。

ポイント >>>

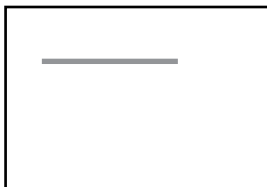
[Esc] ボタンを押すと、
始点の決定をキャンセル
できます。



- ④ カーソルを Enter ボタンで終点まで移動します。

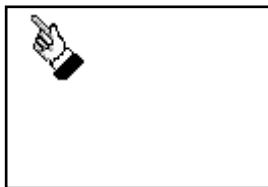


- ⑤ Enter ボタンを押して終点を決定します。

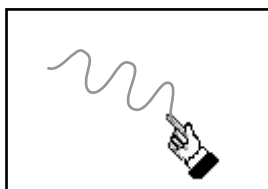


Effect4 ボタン(フリーライン)

- ① Effect4 ボタンを押します。
- ② カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



- ③ Enter ボタンを押して決定し、押したまま Enter ボタンを倒すと、倒した方向にラインを描いていきます。



- ④ Enter ボタンを離すと描画は終了します。

Effect5 ボタン(クリア)

- ① Effect5 ボタンを押します。
装飾された四角、マーカーなどが消えます。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う

映像に子画面を表示する P in P (リモコンのみ)

現在表示されているコンピュータ映像の中に、ビデオ映像の子画面として表示することができます。

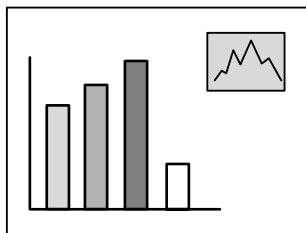
ポイント

初期設定(初期化)時の表示は、次のようになります。

- ・ 子画面のサイズ:
320×240ドット
- ・ 親画面の入力映像:
Computer
- ・ 子画面の入力映像:
Video

子画面の入力映像は、「メニュー画面の操作」の「P in P」で変更できます。76ページ

- 1 **P in P** ボタンを押します。
(もう一度**P in P**ボタンを押すか、**Esc**ボタンを押すと解除されます。)

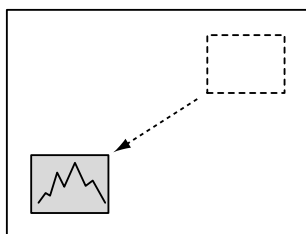


ポイント

Enterボタンを押すと子画面の位置とサイズが決定されてしまいます。位置およびサイズを変更するときは、**Enter**ボタンを押す前におこなってください。

子画面の位置を変更する場合

- 1 **Enter** ボタンを倒すと、子画面が倒した方向に移動します。



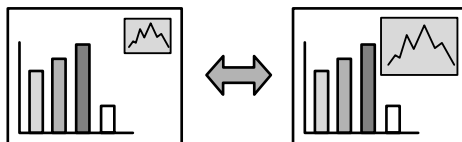
ポイント

子画面の大きさは、入力されているコンピュータ映像の解像度により異なります。表示されるドット数は以下の通りです。

-1	240 × 180
0	320 × 240
+1	400 × 300
+2	480 × 360
+3	560 × 420

子画面の表示サイズを変更する場合

- 1 **E-Zoom** ボタンを押すと、子画面が拡大または縮小されます。



子画面を決定する

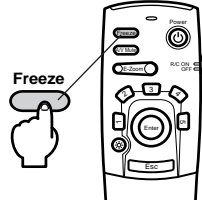
- 1 **Enter** ボタンを押します。

フリーズ機能を使う

動いている映像を一時的に停止する **Freeze** (リモコンのみ)

動いている映像 (ビデオなどの映像) を一時的に停止させることができます。

- 1 **Freeze** ボタンを押します。
(もう一度 **Freeze** ボタンを押すと解除されます。)



ユーザーロゴを投写する

A/V ミュート*時およびスタートアップ時に、ユーザーロゴを投写することができます。

映像と音声を一時的に消しユーザーロゴを投写する **A/V Mute**(リモコンのみ)

音声と映像を一時的に消し、ユーザーロゴを投写する

- 1 **A/V Mute** ボタンを押します。
(もう1度 **A/V Mute** ボタンを押すか、音量を調整すると解除されます。)

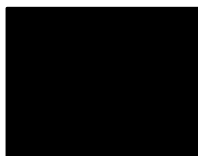
ポイント

ユーザーロゴを投写するにはユーザーロゴの登録と設定が必要です。📖79,82ページ

映像と音声を一時的に消したときの状態を変更することができます。「メニュー」「設定」「A/V ミュート」で変更します。

📖79 ページ

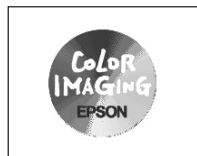
「黒」を選択したとき 「青」を選択したとき 「ロゴ」を選択したとき



黒一色の映像になります



青一色の映像（ブルーバック）になります



オリジナルロゴなどを投写できます

ヘルプ機能を使う

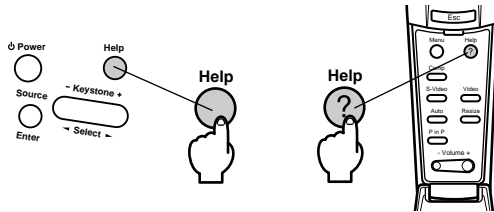
トラブルの解決方法を表示する Help

トラブル発生時の解決方法を、項目別に画面に表示することができます。困ったときにお使いください。

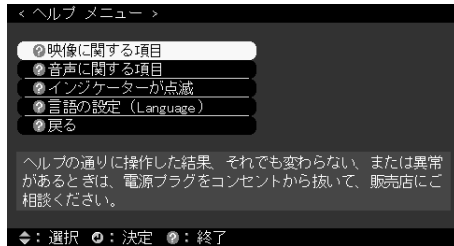
ポイント

Help 機能を使ってわからないときは、本書「困ったときに」93 ページをご覧ください。

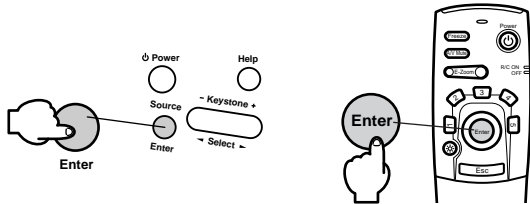
- 1 Help ボタンを押すとヘルプを起動します。
(もう一度 Help ボタンを押すと解除されます。)



- 2 本体の Select (リモコンの場合は Enter) ボタンで、項目を選択します。



- 3 Enter ボタンを押して決定します。



- 4 以下②、③の手順と同様に詳細項目を選択し、表示される内容に従って操作してください。



ELP-710/700/500

メニュー画面の操作 (リモコンのみ)

メニューを使う

58

メニューを使う

メニューを画面に表示することで、各種設定をおこなうことができます。

メニューの基本操作

メニューを使うときの基本的な操作です。

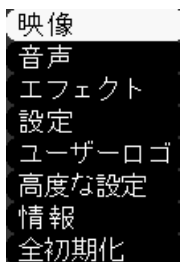
ポイント

ここではコンピュータ映像を写しているときの「エフェクト」の「マーカー」を例にして説明しています。

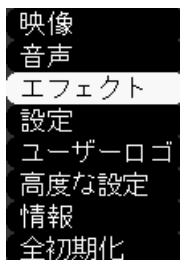
ポイント

選択されているメニューは、黄色のバーになります。

- ① **[Menu]** ボタンを押し、トップメニューを表示します。



- ② **[Enter]** ボタンで「エフェクト」を選択します。



- ③ **[Enter]** ボタンを押して決定します。
黄色のバーがサブメニューに移動します。



- 4 **[Enter]** ボタンで「マーカー」を選択します。



- 5 **[Enter]** ボタンを押して決定します。

- 6 **[Enter]** ボタンで色を選択します。



- 7 **[Enter]** ボタンでバーを「線幅」に移動します。



- 8 **[Enter]** ボタンで線幅を2~32ドット(2ドットステップ)で選択します。

- 9 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント ▶▶▶

- ・他のメニューを設定するときは、**[Esc]** ボタンを押すとトップメニューに戻ります。
- ・手順9の状態では**[Menu]** ボタンで終了し、次にメニューを開いたときは、手順6の画面が表示されます。
- ・メニューを表示したまま、映像入力ソースを切り替えると、その入力ソースのメニューに自動的に切り替わります。

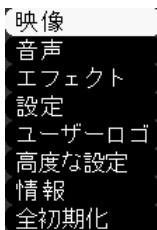
映像メニュー

メニューを画面に表示することで、各種調整をおこなうことができます。

ポイント

コンピュータからの映像信号が入っていないときは、コンピュータの映像の調整ができません。

- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで「映像」を選択します。

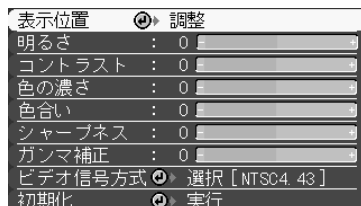


- 2 **Enter** ボタンを押して決定します。

- 3 **Enter** ボタンで表示されたサブメニューから調整する項目を選択します。



コンピュータ映像投写時



ビデオ映像投写時

これ以降の調整は、以下の操作を行ってください。

コンピュータおよびビデオ投写時の共通の調整

- ・映像の表示位置を上下、左右に移動する(表示位置) 61ページ
- ・明るさの調整(明るさ) 62ページ
- ・色の明暗の差を調整(コントラスト) 63ページ
- ・色の強さ調整(カラー調整) 64ページ
- ・映像のシャープ感を調整(シャープネス) 65ページ
- ・投写映像の色を調整(ガンマ補正) 65ページ
- ・出荷時の初期値に戻す(初期化) 66ページ

コンピュータ映像投写時のみの調整

- ・色の濃さ調整(色の濃さ) 63ページ
- ・色合いの調整(色合い) 63ページ
- ・使用するビデオ信号方式設定(ビデオ信号方式) 66ページ

ビデオ映像投写時のみの調整

- ・映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整(トラッキング) 61ページ
- ・映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整(同期) 62ページ
- ・コンピュータ入力映像を最適化する(自動セットアップ) 65ページ

映像の表示位置を上下、左右に移動する(表示位置)

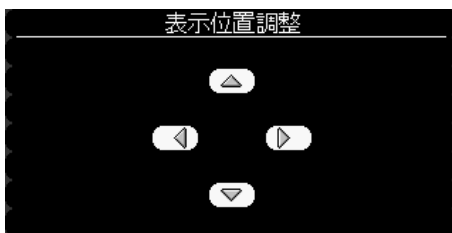
ポイント

表示位置の調整をした後、コンピュータからの映像信号の変更(出力モードの変更や表示色の変更など)により調整値が変化するときがあります。

- 1 **Enter** ボタンを押して「表示位置調整」画面を表示します。

表示位置 調整

- 2 **Enter** ボタンで映像位置を調整します。

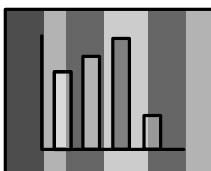


ポイント

[Esc] ボタンを押すと、映像のサブメニューに戻ります。

- 3 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整(トラッキング)



ポイント

トラッキングの調整は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

- 1 映像を見ながら、縦の縞模様が無くなるように **Enter** ボタンで調整します。

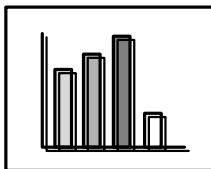
トラッキング : 0

ポイント

他の映像項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整(同期)



ポイント

- ・同期の調整は、コンピュータの映像を投影しているときのみおこなえます。
- ・トラッキングが合っていないと、同期の調整をしてもちらつきがなくなりません。必ず、トラッキングを合わせてから、同期の調整をおこなってください。

61ページ

- 1 映像を見ながら、ちらつきや、ぼやけが無くなるように **Enter** ボタンで調整します。

同期 : 0

ポイント

他の映像項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

明るさの調整(明るさ)

- 1 映像を見ながら、本体の **Enter** ボタンで調整します。

明るさ : 0

+ : 映像が明るくなります。

- : 映像が暗くなります。

ポイント

他の映像項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

色の明暗の差を調整(コントラスト)

- 1 映像を見ながら、**[Enter]** ボタンで調整します。

コントラスト : 0

+ : 明暗の差が大きくなります。

- : 明暗の差が小さくなります。

ポイント

他の映像項目を調整するときは、**[Enter]** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

色の濃さ調整(色の濃さ)

- 1 映像を見ながら、映像色を **[Enter]** ボタンで調整します。

色の濃さ : 0

+ : 色が濃くなります。

- : 色が薄くなります。

ポイント

色の濃さ調整は、ビデオ映像を投写しているときのみおこなえます。

- 2 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

他の映像項目を調整するときは、**[Enter]** ボタンで調整する項目を選択します。

色合いの調整(色合い)

- 1 映像を見ながら、色合いを本体の **[Enter]** ボタンで調整します。

色合い : 0

+ : 赤色が強くなります。

- : 緑色が強くなります。

ポイント

色合い調整は、ビデオ映像を投写しているときのみおこなえます。

- 2 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

他の映像項目を調整するときは、**[Enter]** ボタンで調整する項目を選択します。

ポイント

カラー調整は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

ポイント

他の色も調整するときは、**Enter**ボタンで選択し、手順③と同じように調整します。

ポイント

Escボタンを押すと映像のサブメニューに戻ります。

色の強さ調整(カラー調整)

- 1 **Enter**ボタンを押して「カラー調整」画面を表示します。

カラー  調整

- 2 調整する色を **Enter**ボタンで選択します。
- 3 映像を見ながら、**Enter**ボタンで調整します。



赤 + : 赤色を強くします。
 赤 - : 赤色を弱くします。
 緑 + : 緑色を強くします。
 緑 - : 緑色を弱くします。
 青 + : 青色を強くします。
 青 - : 青色を弱くします。

- 4 **Menu**ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

キーストーン補正により、ムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。

ポイント

他の映像項目を調整するときは、[Enter]ボタンで調整する項目を選択します。

ポイント

- ・自動セットアップは、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。
- ・自動でセットアップされるのは以下のとおりです。
 - ・トラッキング
 - ・表示位置(上下、左右)
 - ・同期

ポイント

他の映像項目を調整するときは、[Enter]ボタンで調整する項目を選択します。

ポイント

他の映像項目を調整するときは、[Enter]ボタンで調整する項目を選択します。

映像のシャープ感を調整(シャープネス)

- 1 映像を見ながら、シャープ感を [Enter] ボタンで調整します。

シャープネス : 0

- + : シャープ感が強くなり、映像がはっきりします。
- : シャープ感が弱くなり、映像がソフトになります。

- 2 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

コンピュータ入力映像を最適化する(自動セットアップ)

- 1 [Enter] ボタンで「ON」または「OFF」を選択します。
 - ・「ON」を選択すると、自動セットアップが有効になります。
 - ・「OFF」を選択すると、自動セットアップが無効になります。

自動セットアップ : ON OFF

- 2 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

投写映像の色を調整(ガンマ補正)

- 1 映像が自然な色になるように [Enter] ボタンで調整します。

ガンマ補正 : 0

- 2 [Menu] ボタンを押します。

使用するビデオ信号方式設定(ビデオ信号方式)

- 1 **Enter** ボタンを押して「ビデオ信号方式選択」画面を表示します。

ビデオ信号方式 ◀ ▶ 選択 [NTSC4.43]

ポイント ▶▶▶

- ・ビデオ信号方式設定は、ビデオ映像を投写しているときのみおこなえます。
- ・Auto:自動的にビデオ信号を設定します。(Autoを選択するとビデオ信号を自動判別しますが、PAL(60Hz)方式の場合は、Manualで設定してください。)

ポイント ▶▶▶

Esc ボタンを押すと映像のサブメニューに戻ります。

ポイント ▶▶▶

- ・出荷時の初期設定値は、86ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

- 2 **Enter** ボタンで、使用するビデオ信号方式選択します。



- 3 **Menu** ボタンを押して、メニューを閉じます。

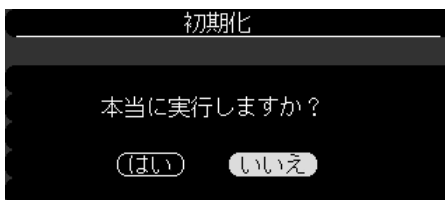
出荷時の初期値に戻す(初期化)

映像の調整値を初期値に戻します。

- 1 **Enter** ボタンを押して「初期化」画面を表示します。

初期化 ◀ ▶ 実行

- 2 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻しトップメニューに戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、処理を中止してサブメニューに戻ります。



- ③ **Enter** ボタンを押して実行します。

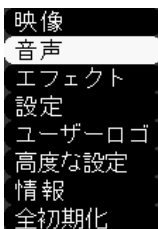
ポイント

他の映像項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- ④ **Menu** ボタンを押してメニューを閉じます。

音声メニュー




- ① **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで、「音声」を選択します。



- ② **Enter** ボタンを押して決定します。
- ③ **Enter** ボタンで表示されたサブメニューから調整する項目を選択します。



これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- ・ 音量の調整（音量）  68 ページ
- ・ 音質の調整（トーン）  68 ページ
- ・ 出荷時の初期設定に戻す（初期化）  69 ページ

音量の調整(音量)

- 1 **Enter** ボタンで、音を聞きながら音量を調整します。

音量 : 0 

+ : 音量が大きくなります。
- : 音量が小さくなります。

ポイント

他の音声項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

音質の調整(トーン)

- 1 **Enter** ボタンで、音を聞きながら音質を調整します。

トーン : 0 

+ : 高音が強くなります。
- : 高音が弱くなります。

ポイント

他の音声項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

出荷時の初期値に戻す(初期化)

音声の調整値を初期値に戻します。

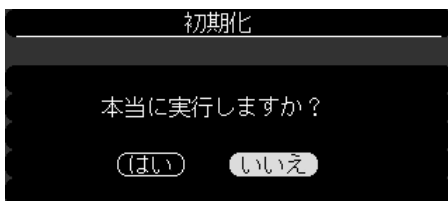
ポイント

- ・出荷時の初期値は、86ページを参照してください。
- ・映像、音声など、すべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

- 1 **Enter** ボタンを押して「初期化」画面を表示します。

初期化  実行

- 2 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻しトップメニューに戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、処理を中止してサブメニューに戻ります。



- 3 **Enter** ボタンを押して実行します。
- 4 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

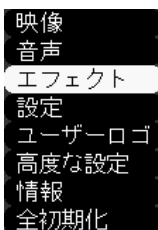
ポイント

他の音声項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

エフェクトメニュー

リモコンの **Effect 1** ~ **Effect 4** ボタンに割り当てられている機能の詳細設定をすることができます。また、リモコンのポインタ移動速度を変えることができます。

- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで「エフェクト」を選択します。



- 2 **Enter** ボタンを押して決定します。
- 3 **Enter** ボタンでサブメニューを選択します。



ポインタ >>>
「ポインタ移動速度の設定」の場合は、手順 4 をおこなう必要はありません。

- 4 **Enter** ボタンを押します。
これ以降は、以下の操作をおこなってください。
- ・カーソル/スタンプの設定(カーソル/スタンプ) 71ページ
 - ・四角の設定(四角) 72ページ
 - ・マーカーの設定(マーカー) 72ページ
 - ・フリーラインの設定(フリーライン) 73ページ
 - ・ポインタ移動速度の設定(ポインタ移動速度) 73ページ
 - ・出荷時の初期値に戻す(初期化) 74ページ

カーソル/スタンプの設定(カーソル/スタンプ)
リモコンの[Effect1]ボタンに割り当てられているカーソルスタンプ機能の詳細設定をします。

- 1 [Enter] ボタンで、バーを「形状」に移動します。



- 2 [Enter] ボタンでカーソル/スタンプの形状を選択します。
- 3 [Enter] ボタンで、バーを「倍率」に移動します。
- 4 [Enter] ボタンでカーソル/スタンプの表示倍率を選択します。
- 5 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>>

[Esc] ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

四角の設定(四角)

リモコンの **Effect2** ボタンに割り当てられている四角の色と形状の設定をします。

- 1 **Enter** ボタンで、バーを「色」に移動します。



- 2 **Enter** ボタンで色を選択します。
- 3 **Enter** ボタンで、バーを「形状」に移動します。
- 4 **Enter** ボタンで形状を選択します。
- 5 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>>

Esc ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

マーカーの設定(マーカー)

リモコンの **Effect3** ボタンに割り当てられているマーカーの色と線幅の設定をします。

- 1 **Enter** ボタンで、バーを「色」に移動します。



- 2 **Enter** ボタンで色を選択します。
- 3 **Enter** ボタンで、バーを「線幅」に移動します。
- 4 **Enter** ボタンで線幅を2～32ドット(2ドットステップ)で選択します。
- 5 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>>

Esc ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

フリーラインの設定(フリーライン)

リモコンの[Effect4]ボタンに割り当てられているフリーライン描画機能の詳細設定をします。

- 1 [Enter] ボタンで、バーを「色」に移動します。



- 2 [Enter] ボタンで色を選択します。
- 3 [Enter] ボタンで、バーを「線幅」に移動します。
- 4 [Enter] ボタンで線幅を2～148ドット(2ドットステップ)で選択します。
- 5 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

[Esc] ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

ポインタ移動速度の設定(ポインタ移動速度)

ポインタの移動速度を設定をします。

- 1 [Enter] ボタンで、ポインタ移動速度設定します。

ポインタ移動速度 : L M H

L : 遅い

M : 中間

H : 速い

ポイント

リモコンの[Effect1]ボタンを押してポインタを表示させ、リモコンの[Enter]ボタンを動かして移動速度を確認してください。

ポイント

他のエフェクト項目を調整するときは、[Enter]ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

- ・出荷時の初期値は、86ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、トップメニューの「全初期化」でおこないます。

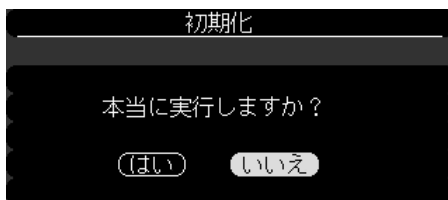
出荷時の初期値に戻す(初期化)

エフェクト機能の調整値を初期値に戻します。

- 1 **Enter** ボタンを押して「初期化」画面を表示します。

初期化  実行

- 2 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻しトップメニューに戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、処理を中止してサブメニューに戻ります。



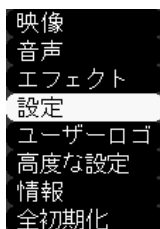
- 3 **Enter** ボタンを押して実行します。
- 4 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

他のエフェクト項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

設定メニュー

- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで「設定」を選択します。



- 2 **Enter** ボタンを押しして決定します。
- 3 **Enter** ボタンでサブメニューを選択します。



これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- ・ 画面が台形に歪んだときの調整 (キーストーン) 76ページ
- ・ 子画面の設定 (P in P) 76ページ
- ・ 映像信号がない時の画面表示設定 (メッセージ) 77ページ
- ・ 入力ソースを画面表示する/しないの設定 (入力表示) 78ページ
- ・ A/V ミュート時の画面設定 (A/Vミュート) 79ページ
- ・ 映像信号がない時のパワーセーブ設定 (DPMS) 80ページ
- ・ 出荷時の初期値に戻す (初期化) 81ページ

ポイント

- ・本体の **Keystone** ボタンでも調整できます。
- ・キーストーン補正をすると画面が小さくなります。
- ・キーストーン補正した状態は記憶されています。次回投写位置や角度を変えたときは再調整してください。
- ・キーストーン補正によりムラが目立つ場合は、「映像」「シャープネス」で、シャープネスを下げて使用してください。

ポイント

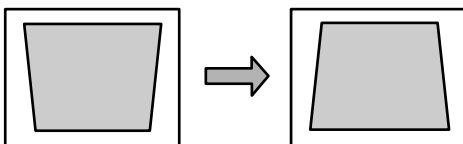
他の設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

画面が台形に歪んだときの調整 (キーストーン) (メニュー画面による補正)

- 1 **Enter** ボタンで、正常に表示されるように調整します。

キーストーン : 0

+ : 上面が広がります - : 底面が広がります



- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

子画面の設定 (P in P)

ピクチャー・イン・ピクチャー機能で表示する子画面の映像ソースを設定します。

- 1 **Enter** ボタンで子画面として使用する映像ソースを選択します。

PinP : コンポジット S-Video

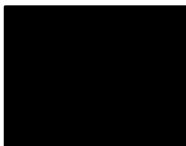
- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

映像信号がないときの画面表示設定(メッセージ)

- 1 **Enter** ボタンで、映像信号がない時の画面を選択します。

メッセージ : OFF 黒 青 ロゴ

「OFF」を選択したとき



メッセージは表示されません

「青」を選択したとき



青地に「映像信号が入力されていません」(言語が日本語のとき)と表示されます

「黒」を選択したとき



黒地に「映像信号が入力されていません」(言語が日本語のとき)と表示されます

「ロゴ」を選択したとき



オリジナルロゴなどを投写できます
ロゴと「映像信号が入力されていません」(言語が日本語のとき)と表示されます

ポイント >>>

他の設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

入力ソースを画面に表示する/しないの設定(入力表示)
現在選択されている入力ソースが、どれなのかを表示する/しないの設定をします。「ON」を選択すると、入力ソース切り替え時に約3秒間入力ソースを表示します。

- 1 **Enter** ボタンで、映像信号がない時の画面を選択します。
 - ・「ON」を選択すると、入力ソースを表示します。
 - ・「OFF」を選択すると、入力ソースを表示しません。


入力表示 : ON OFF



Computer 端子に接続している機器の映像です。



Video 端子または S-Video 端子に接続している機器の映像です。

ポイント 


他の設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

A/Vミュート*時の画面設定(A/Vミュート)

プレゼンテーション中に一時的に映像を消し発表者を注目させるときなどに使います。**A/V Mute** ボタンを押したときに有効になります。

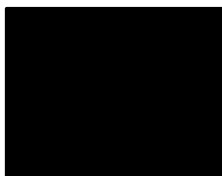
ポイント

ロゴは「投写するユーザーロゴを編集する(ユーザーロゴメニュー)」をご覧ください。 82ページ

- 1 **Enter** ボタンで、A/Vミュート時の画面を選択します。

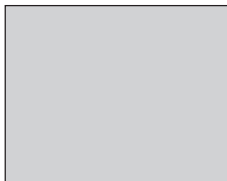
[A/Vミュート : 黒 青 ロゴ]

「黒」を選択したとき



黒一色の映像になります

「青」を選択したとき



青一色の映像(ブルーバック)になります

「ロゴ」を選択したとき



オリジナルロゴなどを投写できます

ポイント

他の設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント▶▶▶

- ・映像を切り替えたときにも、ランプは自動的に点灯します。
- ・パワーセーブ状態中は、クールダウンが終了しても、ファンは回転します。

ポイント▶▶▶

他の設定項目を調整するときは、**[Enter]**ボタンで調整する項目を選択します。

映像信号がない時のパワーセーブ設定(DPMS)

コンピュータの省電力状態を感知して、自動的にランプを消灯します。コンピュータのマウス操作などで、省電力状態が解除され、映像信号が入力されると、ランプは自動的に点灯します。

- 1 **[Enter]** ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。

DPMS : ON OFF

ON : DPMS が有効

OFF : DPMS が無効

- 2 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント▶▶▶

- ・出荷時の初期値は、86ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

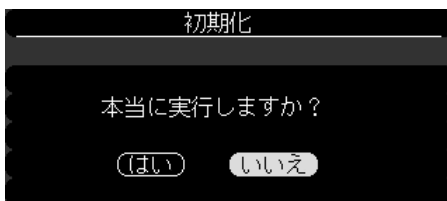
出荷時の初期値に戻す(初期化)

設定機能の設定値を初期値に戻します。

- 1 **Enter** ボタンを押してサブメニューを表示します。

初期化 ▶▶▶ 実行

- 2 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻しトップメニューに戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、処理を中止してサブメニューに戻ります。



- 3 **Enter** ボタンを押して実行します。
- 4 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント▶▶▶

他の設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで調整する項目を選択します。

ユーザーロゴメニュー

現在表示されている映像をユーザーロゴとして使うことができます。

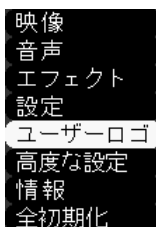
ポイント

- ・A/Vミュート時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」「設定」「A/Vミュート」で「ロゴ」が選択されている必要があります。
79ページ
- ・電源オン時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」「高度な設定」「スタートアップスクリーン」で「ON」が選択されている必要があります。
89ページ
- ・映像信号が入力されていない時にユーザーロゴを表示するには、「メニュー」「設定」「メッセージ」で「ロゴ」が選択されている必要があります。
77ページ

制限

映像信号が入力されていないときは、「はい」の選択はできません。

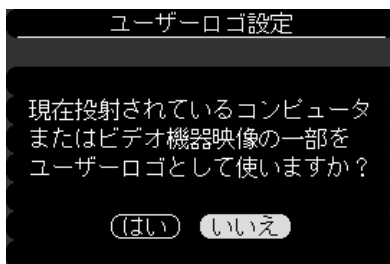
- 1 ユーザーロゴとして取り込みたい画面を投写します。
- 2 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで、「ユーザーロゴ」を選択します。



- 3 **Enter** ボタンを押してサブメニューを表示します。



- 4 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行したときは、ユーザーロゴとして使用する映像を決定します。
 - ・「いいえ」を実行したときは、処理を中止してサブメニューに戻ります。



- 5 **Enter** ボタンを押して決定します。

ポイント▶▶▶

映像として取り込める
サイズは400×300
ドットです。

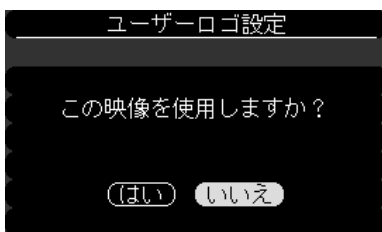
- 6 **Enter** ボタンを動かしてユーザーロゴとして使いたい位置を選択します。



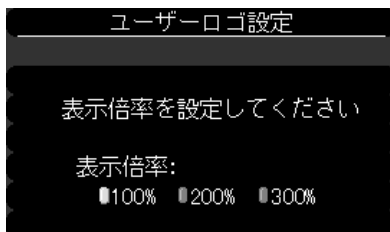
ポイント▶▶▶

「いいえ」を実行すると
トップメニューに戻ります。

- 7 **Enter** ボタンを押して位置を決定します。
- 8 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
- ・「はい」を実行したときは、ユーザーロゴとして使用する映像の使用位置を決定します。
 - ・「いいえ」を実行したときは、処理を中止してサブメニューに戻ります。



- 9 **Enter** ボタンを押して決定します。
- 10 **Enter** ボタンで「倍率」を選択します。



ポイント

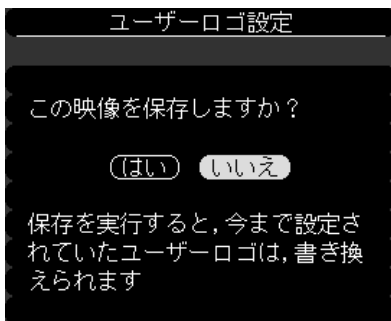
- ・「いいえ」を実行すると保存しないでトップメニューに戻ります。
- ・保存実行すると、今まで設定されていたユーザーロゴは復元できません。
- ・保存にはしばらく時間がかかります。
- ・保存中には砂時計が表示されます。
- ・保存中はプロジェクターや接続している機器の操作は絶対に行わないでください。故障の原因となります。

ポイント

- [Esc] ボタンを押すと、トップメニューに戻ります。

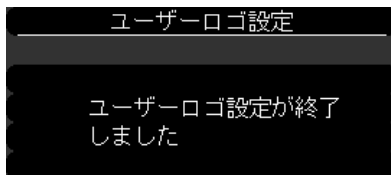
11 [Enter] ボタンを押して決定します。

- 12 [Enter] ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
- ・「はい」を実行したときは、映像をユーザーロゴとして保存します。
 - ・「いいえ」を実行したときは、処理を中止してサブメニューに戻ります。



13 [Enter] ボタンを押して実行します。

- 14 保存が終了すると「ユーザーロゴ設定が終了しました」のメッセージが表示されます。



15 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

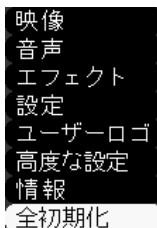
全初期化(工場出荷時の値に戻す)

メニューの全設定を初期設定に戻します。(ユーザーロゴ、ランプ時間、言語は除く)

ポイント >>>

出荷時の初期値は、次ページを参照してください。

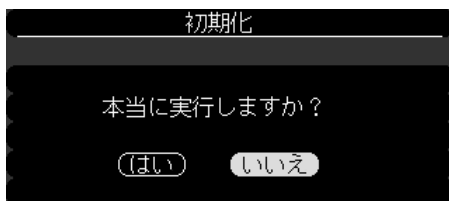
- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで、「全初期化」を選択します。



- 2 **Enter** ボタンを押してサブメニューを表示します。




- 3 **Enter** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻しトップメニューに戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、処理を中止してサブメニューに戻ります。



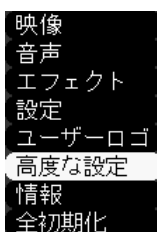
- 4 **Enter** ボタンを押して初期化を実行します。
- 5 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

初期設定値一覧

メニュー	項目	初期設定値
映像 (コンピュータ)	表示位置 上下 左右	中心値
	トラッキング	接続信号による
	同期	0
	明るさ	中心値
	コントラスト	
	カラー (赤)	
	カラー (緑)	
	カラー (青)	
	シャープネス	
	自動セットアップ	ON
ガンマ補正	12	
映像 (ビデオ)	表示位置 上下 左右	中心値
	明るさ	中心値
	コントラスト	
	色の濃さ	
	色合い	
	シャープネス	
	ガンマ補正	12
ビデオ信号方式	Auto	
音声	音量	15
	トーン	中心値
エフェクト	カーソル / スタンプ	形状:  倍率: 100%
	四角	色: 緑 形状: カド角
	マーカー	色: 紫 線幅: 4
	フリーライン	色: 黄 線幅: 20
	ポインタ移動速度	M
設定	キーストーン	中心値
	P in P	コンボジット
	メッセージ	青
	入力表示	ON
	A/V ミュート	黒
	DPMS	OFF
高度な設定	言語	日本語
	スタートアップスクリーン	OFF
	色温度	中心値
	リア	OFF
	上下反転	OFF

高度な設定メニュー

- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで、「高度な設定」を選択します。



- 2 **Enter** ボタンを押しして決定します。
- 3 **Enter** ボタンでサブメニューを選択します。



これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- ・メニューの言語の設定 (言語) 📖 88 ページ
- ・ウォームアップ時の映像設定 (スタートアップスクリーン) 📖 89 ページ
- ・色温度の設定 (色温度) 📖 89 ページ
- ・リア投写時の設定 (リア) 📖 90 ページ
- ・天吊り投写時の設定 (上下反転) 📖 90 ページ
- ・出荷時の初期値に戻す (初期化) 📖 91 ページ

メニューの言語を設定(言語)

メニューの言語を変更したいとき使います。

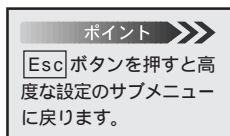
・つぎの中から選択します。

- 日本語
- English (英語)
- Français (フランス語)
- Deutsch (ドイツ語)
- Italiano (イタリア語)
- Español (スペイン語)
- Portuguesa (ポルトガル語)
- 中文 (中国語)
- 한국어 (韓国語)

- 1 **Enter** ボタンを押して「言語選択」画面を表示します。



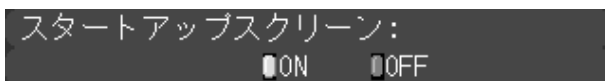
- 2 使用する言語を **Enter** ボタンで、選択します。



- 3 **Menu** ボタンを押して、メニューを閉じます。

ウォームアップ時の映像設定(スタートアップスクリーン)
電源 ON 後、ウォームアップ状態時にユーザーロゴを約 30 秒
間表示したいときに使います。

- ① **Enter** ボタンで、選択します。



ON : 表示します。

OFF : 表示しません。

ポイント▶▶▶

他の高度な設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで設定する項目を調整します。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

色温度の設定(色温度)

映像の色温度*を調整するときに使います。

- ① **Enter** ボタンで設定します。



+ : 色温度が高くなります。(青が強くなります。)

- : 色温度が低くなります。(赤が強くなります。)

ポイント▶▶▶

他の高度な設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで設定する項目を調整します。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

リア投写時の設定(リア)

スクリーン後方から投写するとき使います。

- 1 **Enter** ボタンで、「ON」を選択します。

リア : ON OFF

ON : 投写映像を左右反転します。

OFF : 元に戻します。

ポイント

他の高度な設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで設定する項目を調整します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

天吊り投写時の設定(上下反転)

天井に取り付けて投写するとき使います。

- 1 **Enter** ボタンで、「ON」を選択します。

上下反転 : ON OFF

ON : 投写映像を上下左右反転します。

OFF : 元に戻します。

ポイント

他の高度な設定項目を調整するときは、**Enter** ボタンで設定する項目を調整します。

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

- ・出荷時の初期化および全初期化では、「言語」は初期化されません。
- ・出荷時の初期値は、86ページを参照してください。
- ・映像・音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

ポイント

他の高度な設定項目を調整するときは、**[Enter]**ボタンで設定する項目を調整します。

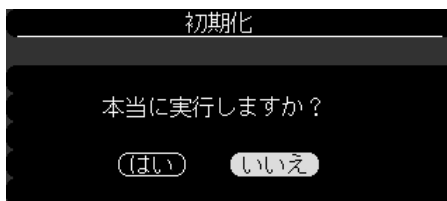
出荷時の初期値に戻す(初期化)

高度な設定の調整値を初期値に戻します。

- 1 **[Enter]** ボタンを押してサブメニューを表示します。

初期化  実行

- 2 **[Enter]** ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻しトップメニューに戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、処理を中止してサブメニューに戻ります。

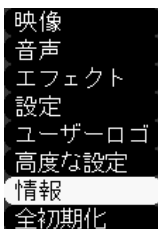


- 3 **[Enter]** ボタンを押して実行します。
- 4 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

情報メニュー

現在入力されている信号の種類やランプの累積使用時間を知ることができます。

- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから **Enter** ボタンで、「情報」を選択します。



コンピュータ映像を選択しているとき

ランプ時間	: 9999 H
周波数	: H 999.99 kHz
	: V 999.9 Hz
SYNC極性	: H Negative
	: V Negative
SYNCモード	: Sync On Green
入力解像度	: 9999x9999
リフレッシュレート	: 999.9 Hz

ランプの累積使用時間を表示します。

水平走査周波数を表示します。

垂直走査周波数を表示します。

同期の極性を表示します。

同期の属性を表示します。

入力解像度を表示します。

リフレッシュレートを表示します。

ビデオの映像を選択しているとき

ランプ時間	: 9999 H
ビデオ信号方式	: NTSC

ランプの累積使用時間を表示します。

ビデオの信号方式を表示します。(メニューでAutoに設定されているときは、「AUTO(NTSC)」と表示します。)

- 2 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。



ELP-710/700/500

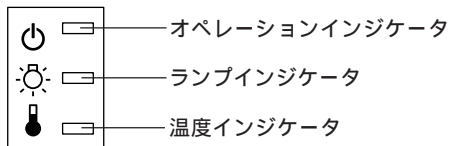
困ったときに

故障かなと思ったら 94

インジケータを見てもわからないとき 96

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本プロジェクターには「オペレーションインジケータ」「ランプインジケータ」「温度インジケータ」があり、プロジェクターの状態を知らせています。



オペレーションインジケータ

インジケータの状態	原因	処置または状態	参照ページ
オレンジ色に点灯	スタンバイ状態です	(異常ではありません) ・ [Power] ボタンを押すと投写を開始します。	23
オレンジ色に点滅	クールダウン中です	(異常ではありません) ・ そのまましばらくお待ちください。 クールダウン*の時間は外気温等によって変わります。 ・ クールダウン(ランプを冷やす動作)中は [Power] ボタンは操作できません。クールダウン終了後、もう一度操作してください。	35
緑色に点灯	投写中です	(異常ではありません)	24,41
緑色に点滅	ウォームアップ中または、ランプが一時消灯中です	(異常ではありません) ・ そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約30秒間です。 ウォームアップ終了後、緑色の点滅が点灯に変わります。 ・ 映像信号が入力されると、ランプは自動的に点灯します。(DPMSがONに設定されているとコンピュータの省電力を感知して、自動的にランプを消灯します。)	24,41 80
赤色に点灯	内部に異常があります	・ ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	
消灯	電源が入っていません	電源が入っていません ・ ランプの交換をおこなった場合は、ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプ及びランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。 ・ 電源ケーブルの接続を確認してください。 ・ コンセントの電源を確認してください。	109 23 23

ランプインジケータ

インジケータの状態	原因	処置または状態	参照ページ
赤色に点滅	ランプに異常が発生しています	<ul style="list-style-type: none"> 新しいランプと交換してください。 ELP-710 ELPLP10S ELP-700/500 ELPLP10B ランプが割れている場合は、破片だけがをしないように取り扱いに注意し、エプソンサービスセンターに修理を依頼してください。(交換しないと映像を投写することはできません。) 	108
赤色に点灯	ランプの交換時期です	<ul style="list-style-type: none"> 新しいランプと交換してください。 ELP-710 ELPLP10S ELP-700/500 ELPLP10B 	108
オレンジ色に点滅	ランプの交換時期が近づいています	<ul style="list-style-type: none"> そろそろ新しいランプの用意をしてください。使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。 	108
消灯		<ul style="list-style-type: none"> (異常ではありません) 電源が入っていない、または、正常に投写中です。 	

温度インジケータ

インジケータの状態	原因	処置または状態	参照ページ
赤色に点灯	内部が高温になっています	<ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクターの使用温度範囲は5 ~ 35 ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 吸気口・排気口をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。 エアフィルタの掃除をしてください。 赤色の点灯中は、内部温度を下げるためランプを消灯させてください。 	118 14 107
赤色に点滅	内部に異常があります	<ul style="list-style-type: none"> ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。 	
オレンジ色に点滅	高速冷却中	<ul style="list-style-type: none"> (異常ではありませんが、更に高温になると投写を自動的に停止させます。) 本プロジェクターの使用温度範囲は5 ~ 35 ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 吸気口・排気口をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。 エアフィルタの掃除をしてください。 	118 14 107
消灯		<ul style="list-style-type: none"> (異常ではありません) 電源が入っていない、または、正常に投写中です。 	

ポイント

- インジケータは正常なのに投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご参照ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは販売店にお問い合わせください。

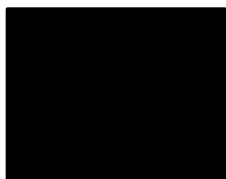
インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

- | | | | |
|-------------|----------|---------------|----------|
| ・映像が写らない | 📖 96ページ | ・映像が暗い | 📖 101ページ |
| ・映像が汚い | 📖 98ページ | ・音が出ない | 📖 102ページ |
| ・映像が切れる/小さい | 📖 100ページ | ・リモコンで操作ができない | 📖 103ページ |
| ・映像の色が悪い | 📖 101ページ | ・終了しない | 📖 103ページ |

映像が写らない

何も表示されない



何も表示されない

レンズキャップが付いたままではありませんか？

📖 投写する」23ページ

電源を OFF にしてすぐ ON にしませんでしたか？

投写終了後(クールダウン中)は **[Power]** ボタンの操作はできません。クールダウン*が終了してから **[Power]** ボタンの操作が有効となります。

📖 終了する」35ページ

DPMS をオンにしていますか？

DPMSをONに設定した場合、映像信号が入らない状態になると、ランプが自動的に消灯します。マウス操作などで、省電力状態を解除してください。

📖 映像信号がない時のパワーセーブ設定」80ページ

[Power] ボタンを押しましたか？

📖 投写する」23, 41ページ

映像の明るさは正しく調整されていますか？

📖 明るさの調整」62ページ

[A/V ミュート] モードになっていませんか？

📖 A/V ミュート時の画面設定」79ページ

初期化してみてください。


📖 全初期化(工場出荷時の値に戻す)」85ページ

メッセージが出る




「この信号は本プロジェクターでは受けられないタイプです」と表示される

コンピュータから出力されている映像信号の解像度がUXGA (1,600x1,200)より上になっていませんか？(ELP-500の場合は、SXGA (1,280x1,024))


 接続できるコンピュータの対応モード表」19ページ

コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。

コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。

 接続できるコンピュータの対応モード表」19ページ

ケーブル類が正しく接続されていますか？

 コンピュータとの接続」20ページ


 ビデオ機器との接続」40ページ




「映像信号が入力されていません」と表示される

接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？

本体の **[Source]** (リモコンの場合は **[Comp]**、**[Video]** または **[S-Video]**) ボタンを押し、映像を切り替えてください。

 投写する」25, 42ページ

接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？


 投写する」25, 42ページ

接続されたコンピュータまたはビデオ機器から映像信号は出力されていますか？

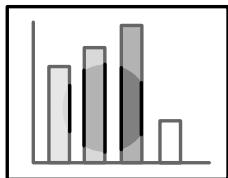
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。通常は映像信号がLCD画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。

外部に映像信号を出力すると、LCD画面に映像が出せないモデルもあります。

接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニターへ出力のしかた」などをよくご覧ください。

 ノートタイプや液晶一型タイプの設定」25ページ

映像が汚い



- ・ 画像がぼやける
- ・ 映像の一部しかピントが合わない
- ・ ピントが全く合わない

ピントは正しく調整されていますか？

参照 フォーカス(ピント)の調整」27ページ

レンズが本体に収納されていませんか？

「W(センター)位置よりレンズに向かって、右方向に回すとレンズが本体内部に収納されていき、ピントが合わなくなります。「W」から「T」までの間でお使いください。

参照 スクリーンサイズ(ズーム)の調整」27ページ

投写距離は最適ですか？

投写距離の推奨範囲は、1.1m～13.8mです。この範囲で設置してください。

参照 スクリーンサイズと投写距離について」16ページ

レンズが汚れていませんか？

参照 レンズの掃除」106ページ

投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？

参照 設置時の注意」14ページ

レンズが結露していませんか？

寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の映像に戻ります。

リモコンの「Auto」ボタンを押してみてください。

参照 画像の調整」29ページ

「同期*・トラッキング*・表示位置」の調整をしてみましたか？

「メニュー」を開いて調整します。

参照 映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整」62ページ

参照 映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整」61ページ

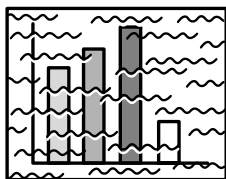
参照 表示位置の調整」61ページ

映像の信号形式の設定は合っていますか？

●ビデオ映像の場合

「メニュー」「映像」「ビデオ信号方式」を開き、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号によりAutoでは判別できないことがあります。

参照 使用するビデオ信号方式設定」66ページ



- ・画像が乱れる
- ・ノイズが入る

ケーブルは正しく接続されていますか？

参照 コンピュータとの接続」20ページ、

参照 ビデオ機器との接続」40ページ

解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。

参照 接続できるコンピュータの対応表」19ページ

リモコンの「Auto」ボタンを押してみてください。

参照 画像の調整」29ページ

「同期*・トラッキング*・表示位置」の調整をしてみましたか？

「メニュー」を開いて調整します。

参照 映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整」62ページ

参照 映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整」61ページ

参照 表示位置の調整」61ページ

映像の信号形式の設定は合っていますか？

●ビデオ映像の場合

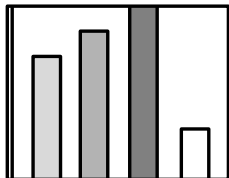
「メニュー」「映像」「ビデオ信号方式」を開き、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号によりAutoでは判別できないことがあります。

参照 使用するビデオ信号方式設定」66ページ

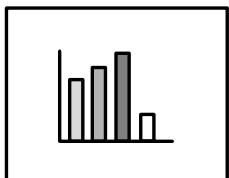
ケーブルを延長していませんか？

コンピュータケーブルを10m以上延長するときは、市販品の映像信号増幅器を使用してください。

映像が切れる/小さい



- ・映像が切れる
- ・小さい



「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。
「Resize」ボタンを押してください。

参照 入力映像をそのまま見たいとき」30, 32ページ

「表示位置」の調整をしてみましたか？

「メニュー」「映像」「表示位置」を開き、調整してください。

参照 表示位置の調整」61ページ

解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。

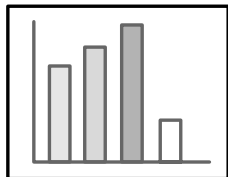
参照 接続できるコンピュータの対応モード表」19ページ

ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。

LCDいっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。

参照 ノートタイプや液晶一体型タイプの設定」25ページ

映像の色が悪い



映像の明るさは正しく調整されていますか？

参照 明るさの調整」62ページ

ケーブル類が正しく接続されていますか？

参照 コンピュータとの接続」20ページ、

参照 ビデオ機器との接続」40ページ

コントラスト*は正しく調整されていますか？

参照 色の明暗の差を調整」63ページ

カラーは正しく調整されていますか？

参照 色の強さ調整」64ページ

色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？

(コンピュータのモニターやLCDへの表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)

参照 色の濃さ調整」63ページ、

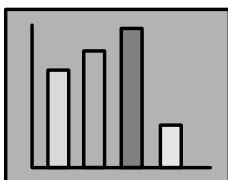
参照 色合いの調整」63ページ

ランプの交換時期ではありませんか？

ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。

参照 ランプの交換」108ページ

映像が暗い



ランプの交換時期ではありませんか？

ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。

参照 ランプの交換」108ページ

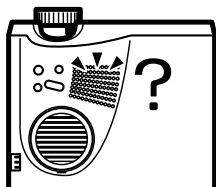
映像の明るさは正しく調整されていますか？

参照 明るさの調整」62ページ

コントラストは正しく調整されていますか？

参照 色の明暗の差を調整」63ページ

音が出ない



音声入力は正しく接続されていますか？

参照 コンピュータの音声をプロジェクターから出す」21ページ、

参照 外部オーディオ機器で音を出す」22ページ

音声出力は正しく接続されていますか？

参照 コンピュータの音声をプロジェクターから出す」21ページ、

参照 外部オーディオ機器で音を出す」22ページ

音声を出したい映像が選択されていますか？

参照 投写する」25, 42ページ

音量調整が最小になっていませんか？

参照 音声の調整」34ページ

「A/Vミュート」がONのままではありませんか？

「A/Vミュート」モードになっていることが考えられます。

Volume ボタンを押して「A/Vミュート」を解除してください。

参照 A/Vミュート時の画面設定」79ページ

リモコンで操作ができない



リモコンのR/C ON OFFスイッチが「ON」になっていますか？

参照 投写する」24, 41ページ

正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？

操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。

参照 リモコンで操作できる範囲」11ページ

プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？

操作可能距離は、約10mです。

参照 リモコンで操作できる範囲」11ページ

プロジェクターのリモコン受光部がふさがれていませんか？

リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？

乾電池は入っていますか？

参照 リモコンへの電池の入れかた」12ページ

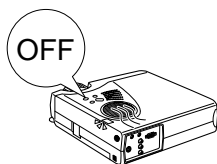
乾電池が消耗していませんか？

参照 リモコンへの電池の入れかた」12ページ

乾電池が逆にセットされていませんか？

参照 リモコンへの電池の入れかた」12ページ

終了しない(「POWER」ボタンを押した後...)



オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。

本プロジェクターは電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。

コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。

ファンが止まらない。

Power ボタンを押して電源を切った後、クールダウン(投写ランプを冷やす動作)をおこないます。その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。

クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。



ELP-710/700/500

メンテナンス

本体の掃除・レンズの掃除・エアフィルタの掃除 106

ランプの交換 108

エアフィルタの交換 110

本体の掃除・レンズの掃除・エアフィルタの掃除

本体が汚れたり映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。また、エアフィルタは100時間ごとを目安に掃除をしてください。

⚠ 警告

サービスマン以外の方はキャビネットを絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、感電の原因となります。内部の点検・修理・調整・清掃などは、お買い上げの販売店または、エプソンサービスセンターに依頼してください。

電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、つぎの点を守ってください。

- ・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まないでください。
- ・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込んでください。
- ・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしないでください。

⚠ 注意

使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。

- ・熱で、やけど・けがの原因となることがあります。
- ・電源を切ってから約60分経過して、プロジェクター本体が十分冷えてからおこなってください。お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。
- ・感電の原因となることがあります。

本体の電源を切り、電源ケーブルをはずしてから掃除をしてください。

本体の掃除

- ・本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの掃除は、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどでおこなってください。レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

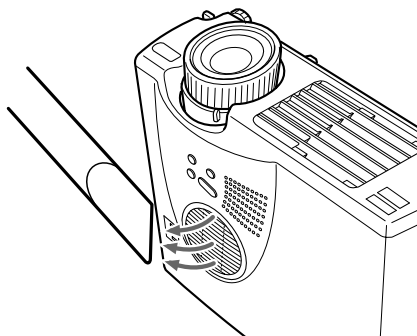
エアフィルタの掃除

ポイント

- ・エアフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- ・交換用ランプをお買い上げのとき、交換用エアフィルタが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。

エアフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアフィルタのごみが中に入り込まないように、必ずレンズを上にして立ててください。その後、掃除機などでほこりを吸い取ってください。



ランプの交換

次のときは、ランプを新しいものに交換してください。

交換用ランプはオプション品となっています。

(ELP-710(ELPLP10S) ELP-700/500(ELPLP10B))

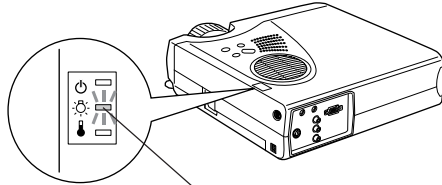
ポイント

- ・ランプが点灯しないときは、交換時期にならなくてもランプの交換をしてください。
- ・初期の明るさや画質を維持するため、表示が出たら、なるべく早めにランプの交換をしてください。
- ・交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約2000時間に設定されています。
- ・交換表示は約2000時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、2000時間前に点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをおすすめします。
- ・交換用ランプは、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル(0120)251-528および、お近くのエプソン商品取扱店でお買い求めください。

投写を開始したときに「投写ランプを交換して下さい」の表示が30秒間されたとき

投写ランプを交換して下さい

ランプインジケータがオレンジに点滅したとき



ランプインジケータが
オレンジに点滅

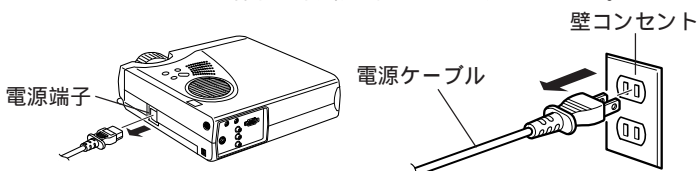
初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

交換のしかた

ポイント

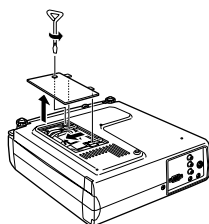
- ・ランプは確実に取り付けてください。このプロジェクターは安全のため、ランプカバーを開けると自動的に電源が切れます。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源は入りません。
- ・ランプ交換時、エアフィルタも交換用ランプに同梱されているエアフィルタと交換してください。
- ・新しいランプを取り付けると自動的にランプ累積使用時間はリセットされ、0になります。

- 1 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。
クールダウンの時間は外気温等によって変わります。

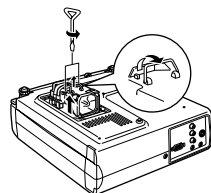


- 2 本体が十分冷えてからランプカバーをはずします。

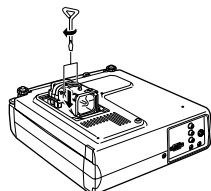
- ・本体が十分冷えるには約 60 分間必要です。
- ・ランプカバー固定ねじ1個をドライバーで回してゆるめ、はずします。



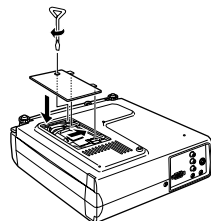
- 3 ランプを引き出します。
ランプ固定ねじ 2 個をドライバーで回してゆるめ、取手をおこしてランプを引き出します。



- 4 新しいランプを取り付けます。
方向を合わせ、奥に当たるまで差し込み、ランプ固定ねじ 2 個をドライバーで回してしっかりとしめます。



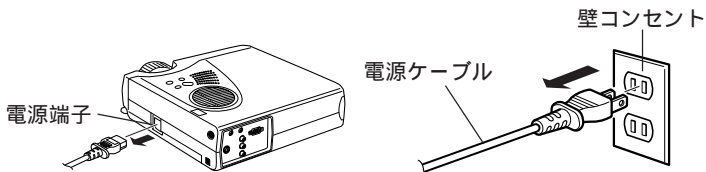
- 5 ランプカバーを取り付けます。
方向を合わせて差し込み、ねじ1個をドライバーでしっかりと回してしめます。



エアフィルタの交換

交換のしかた

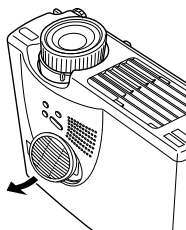
- 1 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。
クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。



ポイント

エアフィルタのごみが中に入り込まないように、必ず本体のレンズを上にして、立てた状態でおこなってください。

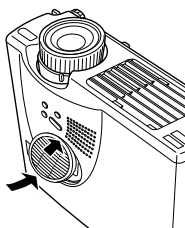
- 2 エアフィルタをドライバーのようなもので上にあげ、エアフィルタをはずします。



ポイント

大きな切りかきをレンズ側にセットして、反対側を「パチン」と押し付けます。

- 3 新しいエアフィルタをセットします。



ELP-710/700/500

その他

オプション品	112
輸送方法について	113
用語解説	114
索引	116
仕様	118
保証とアフターサービス	119
国際保証制度	120

オプション品

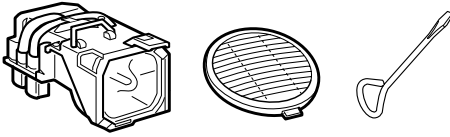
下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

交換用ランプ

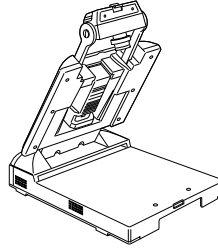
(ELPLP10S : ELP-710)

(ELPLP10B : ELP-700/ELP-500)

交換時期になる前にお買い求めになることをおすすめします。(エアフィルターとドライバーが同梱されています。)

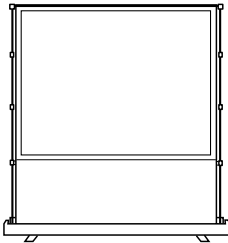


マルチメディアビューワー(ELPDC01)
紙やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

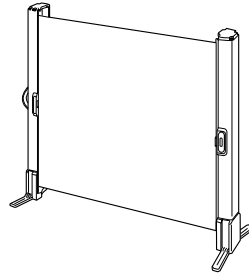


60 インチスクリーン (ELPSC07)

80 インチスクリーン (ELPSC08)



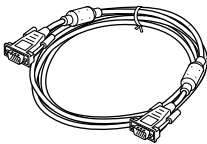
ポータブルスクリーン (ELPSC06)
50 インチ用



コンピュータケーブル

付属のコンピュータケーブルが短いときに使います。

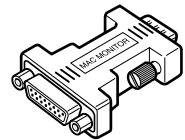
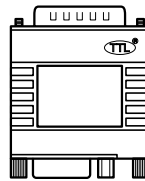
(ミニ D-Sub15pin/ ミニ D-Sub15pin 用)



ELPKC09 (3.0m)

MAC アダプタセット (ELPAP01)

本機と Macintosh を接続するときに使います。



MAC デスクトップアダプタ MAC モニタアダプタ

輸送方法について

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、つぎのように取り扱ってください。

修理などでメーカーに輸送する場合

- ・ お買い上げいただいたときの輸送箱をご利用ください。
- ・ 輸送箱がない場合には、本機に衝撃が伝わらないように、本体の周囲を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れて輸送してください。

ハンドキャリングする場合

- ・ ソフトキャリングケース（型番：ELPKS24）をご利用ください。
- ・ 航空機での移動の場合には、手荷物として持ち込んでください。

お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証は
いっさいできかねますので、ご了承ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

- A/Vミュート 一時的に音声と映像を消すことをいいます。本プロジェクターでは **A/V Mute** ボタンを押すことにより音声と映像を消すことができます。再度 **A/V Mute** ボタンを押すか音量を調整すると解除されます。
- SVGA IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800画素(Pix)×縦600画素(Pix)のものを呼びます。
- SXGA IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280画素(Pix)×縦1,024画素(Pix)のものを呼びます。
- Synα(同期) コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
- VGA IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640画素(Pix)×縦480画素(Pix)のものを呼びます。
- XGA IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024画素(Pix)×縦768画素(Pix)のものを呼びます。
- USB Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
- クールダウン Powerボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続きおこなわれています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転すると同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、外気温等によって変わります。
- コントラスト 色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。

盗難防止用ロック

プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定します。Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社電子映像事業部
〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル
Tel: 03-3438-8879 Fax: 03-5473-1630

トラッキング

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることがトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

60 インチスクリーン	112
80 インチスクリーン	112

アルファベット

A A/V ミュート	55,79
A/V Mute ボタン	9,55
Audio Out 端子	8
Audio In 端子	8
Auto ボタン	10,29
C Comp ボタン	10
D DOS/V 機	47
DPMS	80
E E-Zoom ボタン	9,48
Effect ボタン	9,49
Enter ボタン	7,9
Esc ボタン	9
Eズーム機能	vi
F Freeze ボタン	9,54
H Help ボタン	7,10
K Keystone ボタン	7,28
M Macintosh	20
MAC アダプタセット	112
MAC デスクトップアダプタ	20
MAC マウスケーブル	47
MAC モニタアダプタ	20
Menu ボタン	10,58
Mouse/Com 端子	8
N NTSC	v
P P in P	53
P in P ボタン	10,53
PAL	v
Power ボタン	7,9
PS/2 マウスケーブル	47
R R-Audio-R 端子	8
R/C ON OFF スイッチ	9,24,36,41
Resize	30,32
Resize ボタン	10,30,32
S S-Video 端子	8,40
S-Video ボタン	10,42
SECAM	v

Source ボタン	7
SVGA	30,32
S 映像信号	40
U USB Mouse 端子	8,47
USB マウスケーブル	47
UXGA	v
V VGA	v,32
Video 端子	8
Video ボタン	10,42
Volume ボタン	10,34
W Windows98/95	47
X XGA	v,30,31,33

アイウエオ

ア 明るさ	62
イ 色合い	63
色温度	89
色の濃さ	63
ウ ウィンドウ表示	30,32
ウォームアップ中	94
エ エアーフィルタ	6
エアーフィルタの交換	110
エアーフィルタの掃除	107
映像が写らない	96
映像メニュー	60
映像の調整	26
映像を最適化する	29
エフェクト機能	49
エフェクトメニュー	70
オ オプション品	112
オペレーションインジケータ ..6,24,35,36,94	
音声の調整	34
音声がでない	102
音声メニュー	67
温度インジケータ	6,95
音量	68
カ カーソル/スタンプ	49
外部オーディオ	22
カラー調整	64
ガンマ補正	65
キ キーストーン補正	28

キーストーン補正機能	v	⑦ ノートタイプや液晶一体型タイプの設定 ..	25
④ クールダウン	35,94,96	ノートパソコン	18
クリア (装飾のクリア)	52	⑧ ハンドキャリング	113
⑤ 言語	88	⑨ ピクチャー・イン・ピクチャー機能 ..	vi,53
⑥ 交換用ランプ	112	ビデオ信号方式	66
高度な設定メニュー	87	ビデオポート	18
子画面	53	表示位置の調整	61
子画面の表示サイズ	53	⑦ フォーカスリング	6,27
コントラスト	63	フットレバー	6,26
コンピュータケーブル	112	フリーズ機能	54
コンピュータとの接続	20	フリーライン	52,73
コンピュータの対応モード表	19	プレゼンター	46
コンポジット映像信号	40	プロジェクターからの距離	16
⑧ 四角	72	フロントフット	6,26
シャープネス	65	⑩ ヘルプ機能	56
情報メニュー	92	⑪ ポインタ移動速度	73
終了する	35	ポータブルスクリーン	112
省電力状態	80	本体の掃除	106
情報メニュー	92	⑫ マーカー	51,72
初期化	66,69,81,91	マウス	46
初期設定値一覧	86	マウスケーブル	47
自動セットアップ	65	マルチメディアビューワー	112
⑨ ズームレバー	6,27	⑬ メニューの基本操作	58
スクリーンサイズと投写距離	16	メニューの言語を設定	88
スタートアップスクリーン	89	⑭ モニタポート	18
スタンバイ状態	94	⑮ ユーザーログ	82
⑩ 接続できるコンピュータ	18	ユーザーログ設定機能	vi
設定メニュー	75	ユーザーログメニュー	82
全初期化	85	輸送方法	113
⑬ 操作パネル	7	⑯ ランプインジケータ	6,95
⑫ 単 3 形アルカリ乾電池 (LR6)	12	ランプカバー	6,109
⑭ 電源端子	8,23	ランプの交換	108
電池カバー	10,12	⑰ リア	90
電池の入れかた	12	リアフット	6
トーン	68	リサイジング表示	30,32
⑮ 同期	62	リモコン受光部	6,11
投写位置の調整	26	リモコンの発光部	9,11
盗難防止用ロック	8,115		
トラッキング	61		
⑯ 入出力端子	6,8		

仕様

品名	マルチメディアプロジェクター		
型名	ELP-710/ELP-700/ELP-500		
外形寸法	267 [W] x 87 [H] x 213 [D] mm (レンズ・フット含む)		
パネルサイズ	0.9 型		
表示方式	ポリシリコン TFT		
駆動方式	ELP-710/ELP-700 フルライン 12 相ブロック順次書き込み方式 ELP-500 フルライン 6 相ブロック順次書き込み方式		
画素数	ELP-710/700	2,359,296 個 ([横] 1,024 x [縦] 768 ドット x3)	
	ELP-500	1,440,000 個 ([横] 800 x [縦] 600 ドット x3)	
フォーカス調整	手動式		
ズーム調整	手動式 1 : 約 1.2 リモコンによる E ズーム 1 : 約 4		
(光源) ランプ	UHE ランプ 定格 120W	ELP-710	ELPLP10S ELP-700/ELP-500 ELPLP10B
音声最大出力	1 W モノラル		
スピーカ	1 個		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	約 180W		
使用温度範囲	+ 5 ~ + 35 (結露のないこと)		
保存温度範囲	- 10 ~ + 60 (")		
質量	約 2.6kg		
接続端子	Computer 端子	1 系統	ミニ D-Sub 15pin (メス)
	Audio In 端子 (Computer 用)	1 系統	ステレオミニジャック
	Mouse/Com 端子	1 系統	DIN ジャック 9pin
	Video 端子	1 系統	RCA ピンジャック
	S-Video 端子	1 系統	ミニ DIN 4pin
	Audio 端子 (Video 用)	1 系統	RCA ピンジャック x2 (L、R)
	Audio Out 端子	1 系統	ステレオミニジャック
	USB 端子	1 系統	USB コネクタ (B タイプ)

・仕様は予告なしに変更する場合があります。

保証とアフターサービス

保証書

お客様情報 + 正式保証書発行カードをお送りください。保証書をお送りします。
この製品は保証書の内容によって保証されますので、よくお読みになり、記入事項をご確認のうえ大切に保管してください。

保証期間

プロジェクター本体ご購入日から1年間です。この期間に本製品に保証範囲内での故障があった場合、無償で修理いたします。

修理を依頼されるとき

1. 修理を依頼される前に

この取扱説明書の「困ったときに」の表に従って調べていただき、それでも直らないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。

修理を販売店に依頼するときは、下記のことをお知らせください。

商品名	: マルチメディア・プロジェクター
故障状況	:
型番	: ELP-710/700/500 (お買い上げ型番をご連絡ください。)
購入年月日	:
ご氏名	:
お電話番号	:

危険ですから、ご自分では絶対に修理しないでください。

2. 修理内容

本製品は持ち込み修理となっております。本製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ちいただくか送付していただき、いったんお預かりして修理いたします。なお、技術者の派遣はございませんのでご了承ください。

保証期間中のとき、必ず保証書を添付してください。

輸送方法に関しては、113ページ「輸送方法について」をご覧ください。

修理依頼先・アフターサービスお問い合わせ先

お買い上げの販売店

エプソンサービスセンター（裏表紙の一覧表をご覧ください）

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（性能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

国際保証制度

本機にはワールドワイド保証がついており、購入された国以外の世界45ヶ国以上で修理が受けられます。製品に添付された保証書に記載の内容は、この国際保証の内容ではなく、その保証書の有効な国においてサービスを受ける際に適用されますことをご留意願います。

エプソンのマルチメディアプロジェクターの国際保証は以下の国においてのみ適用されます。

< 欧州 >

- ・ オーストリア ・ ベルギー ・ ブルガリア ・ クロアチア ・ キプロス ・ チェコ
- ・ デンマーク ・ フィンランド ・ フランス ・ ドイツ ・ ギリシャ ・ ハンガリー
- ・ アイルランド ・ イタリア ・ ルクセンブルグ ・ マケドニア ・ オランダ
- ・ ノルウェー ・ ポルトガル ・ ポーランド ・ ルーマニア ・ スロバキア
- ・ スロベニア ・ スペイン ・ スウェーデン ・ スイス ・ トルコ ・ イギリス
- ・ ユーゴスラビア

< 北米・中米 >

- ・ カナダ ・ コスタリカ ・ メキシコ ・ アメリカ

< 南米 >

- ・ アルゼンチン ・ ブラジル ・ チリ ・ コロンビア ・ ペルー ・ ベネズエラ

< アジア・オセアニア >

- ・ オーストラリア ・ ホンコン ・ 日本 ・ 韓国 ・ マレーシア ・ シンガポール ・ 台湾

保証期間と条件は以下の記載によります。

- 1) この保証は、製品を購入した国で発行された保証書またはレシートを提示された場合に有効となります。
- 2) この保証は、この取扱説明書に記載された国のエプソン及びエプソン指定のサービス機関の条件に基づき実施されます。
 - ・ 保証期間は購入から12ヶ月。
 - ・ 保証の適用範囲はエプソンの保証の受入条件に沿ったスペアパーツ代と修理工賃
 - ・ 修理中の代替機の貸与は原則としておこなわない。
- 3) この保証は、下記の場合には適用されません。
 - a. 消耗品（ランプ）及びオプション品の故障の場合
 - b. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、輸送による損傷及び本書の内容に従わず取り扱われた場合
 - c. エプソン及びエプソン指定のサービス機関以外の第三者により、修理、変更された場合
 - d. エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合

ご注意

電源ケーブルについては購入国の電源状況に基づきセットされています。海外でご使用される場合には、必ずその国向けのエプソン純正電源ケーブルをお買い求めください。エプソンマルチメディアプロジェクター国際保証連絡先リスト

この連絡先リストは1999年6月21日現在のものです。最新の連絡先は下記の各国の連絡先のWeb Home Pageを参照下さい。それらの記載が無い場合はメインのWeb Home Page www.epson.com をご覧ください。

<EUROPE>

AUSTRIA :

EPSON Support Center

Austria

Tech. Help Desk: 0810

200129

Web Address:

<http://www.epson.at>

BELGIUM :

EPSON Support Center

BeNeLux

Tech. Help Desk: 070 222083

Web Address:

<http://www.epson.be>

BULGARIA :

PROSOFT

6. AI Jendov Str.

BG-1113 Sofia

Tel: 00359.2.730.231

Fax: 00359.2.9711049

E-mail: [Prosoft@internet-](mailto:Prosoft@internet-BG.BG)

BG.BG

CROATIA :

Recro d.d.

Trg. Sportova 11

HR-10000 Zagreb

Tel: 00385.1.6350.777

Fax: 00385.1.6350.716

E-mail: recro@recro.hr

Web Address:

<http://www.recro.hr>

CYPRUS :

CTC- INFOCOM

6a. Ionos Str., Engomi

P. O. Box 1744

2406 Nicosia, Cyprus

Tel: 00357.2.458477

Fax: 00357.2.668490

CZECH :

EPRINT s.r.o.

Stresovicka 49

CZ-16200 Praha 6

Tel: 00420.2.20180610

Fax: 00420.2.20180611

E-mail: eprint@mbx.vol.cz

DENMARK :

Tech. Help Desk: 80881127

FINLAND :

Tech. Help Desk: 0800.523010

(note. Some geographical
areas excluded)

FRANCE :

EPSON France,

68 bis rue Marjolin, F-92300

Levallois,

Tech. Help Desk:

01.49.61.33.95

Web Address:

<http://www.epson.fr>

GERMANY :

EPSON Deutschland

GmbH

Zülpicher Straße 6

40549 Düsseldorf

Tech. Help Desk: 01805 234182

Web Address:

<http://www.epson.de>

GREECE :

Pouliadis Ass. Corp.

Aristotelous St. 3

GR-19674 Athens

Tel: 0030.1.9242072

Fax: 0030.1.9441066

HUNGARY :

R.A. Trade Kft.

Petőfi Sandor u. 64

H-2040 Budaör

Tel: 0036.23.415.317

Fax: 0036.23.417.310

IRELAND :

Tech. Help Desk: 01.6799016

ITALY :

EPSON Italia s.p.a.

Assistenza e Servizio Clienti

Viale F. Lli Casiraghi, 427

20099 Sesto

San Giovanni (MI)

Tech. Help Desk: 02.29400341

Web Address:

<http://www.epson.it>

LUXEMBURG :

EPSON Support Center

BeNeLux

Tech. Help Desk:

0032 70 222083

Web Address:

<http://www.epson.be>

MACEDONIA :

Rema Kompjuteri d.o.o.

St. Naroden Front 19a

lok 16

91000 Skopje/ Macedonia

Tel: 00389.91.118159

Fax: 00389.91.118159

NETHERLANDS :

EPSON Support Center

BeNeLux

Tech. Help Desk: 043 3515753

Web Address:

<http://www.epson.nl>

NORWAY :

Tech. Help Desk: 800.11828

PORTUGAL :

EPSON Portugal, S.A.

Rua do Progresso, 471-1

Perafita- Apartado 5132

Tech. Help Desk: 0808 200015

Web Address:

<http://www.epson.pt>

POLAND :

FOR EVER Sp. z.o.o.

Ul. Frankciska Kawy 44

PL- 01-496 Warszawa

Tel: 0048.22.638.9782

Fax: 0048.22.638.9786

E-mail: office@for-ever.com.pl

ROMANIA :

MB Distribution S.R. L.

162, Barbu Vacarescu Blvd.

Sector 2

RO- 71422 Bucharest

Tel: 0040.1.2300314

Fax: 0040.1.2300313

E-mail: office@mbd-epson.ro

SLOVAKIA :

Print Trade spol. s.r.o.

Cajkovskeho 8
SK-98401 Lucenec
Tel: 00421.863.4331517
Fax: 00421.863.4325656
E-mail: Prntrd@lc.psg.SK
Web Address:
<http://www.printtrade.sk>

SLOVENIA :

Repro Ljubljana d.o.o.

Smartinska 106
SLO-1001 Ljubljana
Tel: 00386.61.1853411
Fax: 00386.61.1400126

SPAIN :

EPSON IBERICA, S.A.

Avda. Roma 18-26, E-08290
Cerdanyola, Barcelona, SPAIN
Tech. Help Desk: 902.404142
E-mail: soporte@epson.es
Web Address:
<http://www.epson.es>

SWEDEN :

Tech. Help Desk: 08 445 1258

SWITZERLAND :

EXCOM Service AG

Moosacher Str. 6
CH-8820 Wädenswil
Tel: 01.7822111
Fax: 01.7822349
Web Address:
<http://www.excom.ch>

TURKEY :

**Romar Pazarlama
Sanayi ve TIC. A.S.**

Rihtim Cad. No. 201
Tahir Han
TR-Karaköy-Istanbul
Tel: 0090.212.2520809
Fax: 0090.212.2580804

UNITED KINGDOM :

EPSON (UK) Ltd.

Campus 100, Maylands Avenue
Hemel Hempstead,
Herts, HP2 7TJ
Tech. Help Desk: 0990 133640
Web Address:
<http://www.epson.uk>

YUGOSLAVIA :

BS Procesor d.o.o.

Hadzi Nikole Zivkovic a
11000 Beograd
Tel: 00381.11.639610
Fax: 00381.11.639610

**<NORTH, CENTRAL
AMERICA &
CARIBBEANI ISLANDS>**

CANADA :

Epson Canada, Ltd.

100 Mural Street, Suite 300
Richmond Hill, Ontario
CANADA L4B 1J3
Tel: 905-709-3839
Web Address:
<http://www.epson.com>

COSTA RICA :

Epson Costa Rica, S.A.

Embajada Americana,
200 Sur y 300 Oeste
San Jose, Costa Rica
Tel: (50 6) 296-6222
Web Address:
<http://www.epsoncr.com>

MEXICO :

**Epson Mexico, S.A. de
C.V.**

AV. Sonora #150
Mexico, 06100, DF
Tel: (52 5) 328-4008
Web Address:
<http://www.epson.com.mx>

U. S. A. :

Epson America, Inc.

3840 Kilroy Airport Way
Long Beach, CA90806
Tel: (562) 276-4394
Web Address:
<http://www.epson.com>

<SOUTH AMERICA>

ARGENTINA :

Epson Argentina S.A.

Avenida Belgrano 964/970
(1192), Buenos Aires
Tel: (54 11) 4346-0300
Web Address:
<http://www.epson.com.ar>

BRAZIL :

Epson Do Brasil Ltda.

Av. Tucunare, 720
Tambore Barueri,
Sao Paulo, SP 06460-020
Tel: (55 11) 7295-1757
Web Address:
<http://www.epson.com.br>

CHILE :

Epson Chile S.A.

La Concepcion 322
Providencia, Santiago
Tel: (562) 236-2543
Web Address:
<http://www.epson.cl>

COLOMBIA :

Epson Colombia Ltda.

Diagonal 109, 15-49
Bogota, Colombia
Tel: (57 1) 523-5000
Web Address:
<http://www.epson.com.co>

PERU :

Epson Peru S.A.

Av. Del Parque Sur #400
San Isidro, Lima, Peru
Tel: (51 1) 224-2336
Web Address:
<http://www.epson.com>

VENEZUELA :

Epson Venezuela S.A.

Calle 4 con Calle 11-1
La Urbina Sur
Caracas, Venezuela
Tel: (58 2) 241-0433
Web Address:
<http://www.epson.com.ve>

<ASIA & OCEANIA>

AUSTRALIA :

EPSON AUSTRALIA

**PTY
LIMITED**

70 Gibbs Street Chatswood
NSW 2067 AUSTRALIA
Tel: 1300 361 054
Web Address:
<http://www.epson.com.au>

HONGKONG :

**EPSON Technical
Support
Centre
(Information Centre)**

Rooms 4706-4710,
China Resources Building,
26 Harbour Road, Wan Chai,
HONG KONG
Tech. Hot Line: (852) 2585
4399
Fax: (852) 2827 4383
Web Address:
<http://www.epson.com.hk>

JAPAN :

**SEIKO EPSON
CORPORATION
SHIMAUCHI PLANT**

VD Customer Support Group:
4897 Shimauchi, Matsumoto-
shi,
Nagano-ken, 390-8640 JAPAN
Tel: 0263-48-5438
Fax: 0263-48-5680
<http://www.i-love-epson.co.jp>

KOREA :

**EPSON KOREA CO.,
LTD**

17F HANSOL Bldg., 736-1,
Yaoksam-dong Kangnam-gu,
Seoul, 135-080, KOREA
Tel: 2-553-3515
Fax: 2-5584271
<http://www.epson.co.kr>

MALAYSIA :

**EPSON TRADING
(MALAYSIA) SDN.
BHD.**

No. 21 Jalan U 1/19, Seksyen
U1,
Hicom-grenmarie Industrial
Park, 40150 Shan Alam,
Selangor Darul Ehsan
Tel: 03-5191366
Fax: 03-5191386

SINGAPORE :

**EPSON SINGAPORE
PTE. LTD.**

401 Commonwealth Drive
#01-01 Haw Par Technocentre
SINGAPORE 149598
Tel: 4722822
Fax: 4726408

TAIWAN :

**EPSON Taiwan
Technology & Trading
Ltd.**

10F, No.287, Nanking East
Road,
Section 3, Taipei, Taiwan,
China
Tel: 02-2717-7360 ext. 327
Fax: 02-2713-2155
<http://www.epson.com.tw>

ご注意

- (1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7)本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

商標について

IBM, DOS/V, PS/2 は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98 は米国マイクロソフト社の商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約申込先
修理に関するお問い合わせ、出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター(FC)までご連絡下さい。

拠点名	電話番号	住所	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	〒060-0034 札幌市中央区北四条東1丁目16-15 名古屋フコク生命ビル4階	北海道全域
仙台FC	(022)214-7625	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル4階	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
松本FC	(0263)54-7302	〒999-0785 福島市広丘原野田80 セイコーエプソン城 広丘事業所内エプソンシステムプラザ3階	長野・山梨・新潟
東京FC (出張修理・保守契約)	(042)354-0750	〒183-0055 東京都府中市府中町1-14-1 朝日生命府中ビル8階	東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城
名古屋FC	(052)202-9510	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目16-15 名古屋フコク生命ビル4階	愛知・岐阜・三重
静岡FC	(054)251-1360	〒420-0851 静岡市黒金町11-7 三井生命静岡駅前ビル8階	静岡
金沢FC	(076)224-7084	〒920-0031 金沢市広岡1-1-35 金沢第一ビル8階	石川・富山・福井
大阪FC	(06)6397-0930	〒532-0003 大阪市淀川区宮前3-5-24 新大阪第一生命ビル6階	大阪・奈良・和歌山
神戸FC	(078)332-9905	〒650-0034 神戸市中央区京町69 三宮第一生命ビル2階	兵庫
京都FC	(075)255-5891	〒604-8187 京都市中京区御池東洞院西入る笹屋町435 京都御池第一生命ビル4階	京都
広島FC	(082)222-3442	〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビル1階	山口・広島
岡山FC	(086)223-3331	〒700-0904 岡山市柳町1-12-1 三井海上岡山ビル2階	鳥取・島根・岡山・広島(福山市)
四国FC	(087)851-6728	〒760-0023 高松市寿町2-3-11 高松丸山ビル6階	香川・愛媛・高知・徳島
福岡FC	(092)622-8826	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3階	福岡・佐賀・長崎・大分
北九州FC	(093)541-3155	〒802-0003 北九州市小倉北区米町1-1-21 大銀明生小倉ビル8階	福岡北部
熊本FC	(096)326-4519	〒860-0806 熊本市花畑町12-24 フコク生命熊本ビル3階	熊本
鹿児島FC	(099)254-5913	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1 西原見島第一生命ビル3階	鹿児島・宮崎
沖縄FC	(098)858-3301	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通商ビル4階	沖縄

●修理品送付・持ち込み・ドアトドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドアトドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10Fエプソンサービス棟	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス棟	0263-66-9995 ドアトドア専用 受付電話 365日受付可	0263-66-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟	同 右	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通商ビル2F エプソンサービス棟	同 右	098-858-1420

*「ドアトドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●プロジェクトインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-00-4110(ナビダイヤル)※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定日を除く)

※プロジェクトインフォメーションセンターへは携帯電話・PHSからはご利用頂けません。携帯電話・PHSのお客様は、(0263)54-5800(お問い合わせください)。

※ナビダイヤルとは、全国どこからでも同一の電話番号でかけられるNTTの電話サービスの名称です。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●エプソンデジタルカレッジ(スクール)に関するお問い合わせ・お申し込み

東京 TEL(03)5295-4169 FAX(03)5295-4168 【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

大阪 TEL(06)6634-8570 FAX(06)6634-2570 【受付時間】水曜日を除く毎日10:00～12:00/13:00～17:30(弊社指定休日を除く)

※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム ※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア秋葉原 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
【開館時間】毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア大阪日本橋 〒556-0005 大阪府浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
【開館時間】毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)

●エプソンディスカサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社
セイコーエプソン株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5